京城日報

（年中無休刊）

本紙代金 一ケ月金八十錢 三ケ月金二圓三十錢 六ケ月金四圓五十錢 一ケ年金八圓八十錢（郵稅共）
廣告料 五號活字一行 金一圓
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九百番 振替京城三〇〇番

十二月二日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

獨聯盟加入豫想 聯盟書記官の動議

國際聯盟書記局より獨逸を聯盟に加入せしむる動議成り來週中巴里に於て開會さるべき第一回聯盟會議に照會中なるが獨逸は直ちに加入を許可さるべきことを豫想しつゝあり（倫敦電報）

八時間制採用勸告

國際勞働會議東洋委員會は日本政府へ＝東洋委員會通過　一千九百二十二年より五箇年以內は八時間制採用方を日本政府に勸告するの案を通過せり（華盛頓電報）

米對墨最後通牒か

華盛頓二十八日發電＝米國領事事件に關し米國政府は墨國に對し交涉する所ありしが墨國政府は滿足なる處置に出でざる爲めに米國政府は墨國に對し最後通牒を發すべしと（シドニー電報）

伊國王退位說

モーニングポスト紙羅馬來電に曰く社會黨の態度嚴烈なる爲め伊太利國王は退位すべしとの風說專らなるも一般に信ぜられず所に依れば國王は恐らく斯かる態度に出でざるべしと（倫敦電報）

前獨帝起訴證據

聯合國は前獨帝を起訴するに足る有力なる多數の證據を蒐集せり（倫敦電報）

浦鹽政變失敗原因 浦鹽秩序恢復す

浦鹽政變の張本人ガイダ將軍は露領以外に退去し再び露國に入るを許さゞる事及び將來露國內政に干與せざる事等の條件の下に浦鹽を追放されたるが今回の政變運動はモラフスキー以下第二流の社會革命黨を中心として行はれたるもの、如くガイダは是等の煽動殊にガイダを圍繞せる少壯過激の徒に動かされ輕擧事を惹くるに至りしやの形跡あり從つて擧事の當時俄にエスエルの內部に於ける完全なる一致連絡を缺き又當然加入すべく豫期されし勞働者の如きも單に微温的同盟罷工を實行せしのみにて一般の形勢を觀望せし等は政變運動の大なる原因なるべく尙ほ聯合軍側が代表武官會議の決議に基き最も嚴正なる態度を持し且つ其兵力の配備極めて機宜に適したる爲め獨り騷擾地域の擴大を防止したるのみならず確實に市街の治安秩序を維持し不逞の徒をして之に乘ずるの機會を與へざりし事も間接に該運動失敗の一因たるべし而して今や浦鹽の秩序は全く恢復されたり（浦鹽電報）

ガイダ上海落ち

浦鹽騷擾の敗將軍ガイダは長崎經由上海に向け出發の旨當地領事館に通知あり（浦鹽電報）

福州青年會注目 ＝排日の原動力＝

福州に於ける排日熱は今猶熾烈にして人心頗る險惡なり尤も排日に全力を注げるは同地の青年會なるが同會が將來福建の實勢力となり日本の爲めに最も忌むべき事は既に有り識者の說に依れば同會は宗教以外漸次其の勢力を揮ひ始めたるが將來我邦人は先づ第一に青年會に注目するを要す又李督軍は今回の排日騷擾に先立ち青年會に五百元を極秘に與へ歡心を買ひたる形跡あり今後排日熱は益々險惡ならんとす（北京電報）

福州事件調查員

福州事件調查に付き支那側委員三名派遣に決したるが日本委員も近く任命さるべし（北京電報）

靳內閣更迭乎

靳內閣更迭近く實現さるべく吳景濂氏總理たるべしと（北京電報）

唐紹儀態度一變

唐紹儀氏は陸榮廷氏の勸告に依り態度一變し南北和平斡旋に努むべき傾向あり（北京電報）

加藤大使イ市着

加藤大使は二十八日イルクツクに到着せり（哈爾賓電報）

海軍異動

十一月一日左の通り發表ありたり（東京特電）

海軍大將 加藤定吉
同 山下源太郎
補軍事參議官（各通）
海軍大將 村上格一
補吳鎭守府司令長官
海軍大將 山屋他人
補第一艦隊司令長官
海軍中將 黑井悌次郎
補舞鶴鎭守府司令長官
海軍中將 野間口兼雄
補第三艦隊司令長官
海軍中將 博恭王
補第二艦隊司令長官
海軍大將 有馬良橘
補海軍教育本部長兼將官會議議員
海軍中將 東鄕吉太郎
待命被仰付
海軍中將 岩村俊武
補將官會議々員
海軍中將 千坂智次郎
補鎭海灣要港部司令官
海軍中將 小笠原長生
兼臨時海軍建築部支部長
休職被仰付
海軍中將 田所廣海
補將官會議々員
海軍中將 山路一善
補第二戰隊司令官
海軍中將 森山慶三郎
補大湊要港司令官
海軍中將 釜屋六郎
同 永田泰次郎
補將官會議々員（各通）
海軍中將 舟越楫四郎
補第一遣外艦隊司令官
海軍中將 淺野正恭
待命被仰付
海軍中將 本多忠夫
海軍軍令部出仕被仰付
海軍造兵中將 種子田右八郎
海軍省出仕被仰付
海軍少將 釜屋六郎
補海軍技術本部第六部長
同 永田泰次郎
同 舟越楫四郎
同 淺野正恭
同 堀內三郎
任海軍中將

要港部異動

海軍異動の結果鎭海要港部も同司令官以下將校三十餘名の異動ありたり（鎭海特電）

朝鮮憲兵隊長異動

十二月一日左の通り異動發表ありたり（東京特電）

朝鮮憲兵隊長 憲兵大佐 鹽澤義夫
補京城憲兵隊長
朝鮮憲兵隊長 憲兵大佐 鈴木武臣
補鏡城憲兵隊長
鏡城憲兵隊長 憲兵中佐 大和當三郎
補大邱憲兵隊長
大邱憲兵隊長 憲兵中佐 小河市之丞
補平壤憲兵隊長
平壤憲兵隊長 憲兵中佐 松倉淸次郎
補義州憲兵隊長
義州憲兵隊長 憲兵少佐 前田良太
補滿州憲兵隊長
滿州憲兵隊長 憲兵少佐 小山田潔
補咸興憲兵隊長

高工昇格落著

一時白熱に達したる高等工業昇格問題は莊田平五郎氏等の盡力に依り當局の誠意に委ね暫く隱忍することゝし一先づ落著を告げたり（東京特電）

辭令（十二月一日附）

總督府道技師 上村直親
任遞信事務官
遞信書記 永井元明
任朝鮮總督府遞信事務官補（七等）
任道慈惠醫院長（四等）
大邱慈惠醫院長を命す
任朝鮮總督府郡守（八等）
郡書記 沈鏡協
廣州郡在勤を命す 廣州郡守 徐廷岳
始興郡在勤を命す 始興郡守 洪鍾國
龍仁郡在勤を命す 龍仁郡守 朱榮煥
威郡在勤を命す
總督府編修書記 大內猪之助
兼任京城醫學專門學校教授（七等）

豆滿江を浚渫せよ 國境横斷旅行を終りて（一）

伊藤特派員

森林地帶に入りて漸く國境に於ける林野の廣大なることゝ、今日まで森林の利用が甚だ緩漫であつて殆ど

其の大部分 は未だ曾て斧鉞を加へざる原生林として存することである。其猪は暗き森林を出でて附近の小高き山頂に登じ、遠く之を望見する時は唯是れ一面の樹海のみ。其の風を受けて大波小波を起し、壯觀の如き異樣の音響を發しつゝある其の壯觀に至つては到底筆紙の能くする所でない。而も

樹齡を過ぎ たる林木は恐く自ら顛れ自ら腐りて徒らに人間の迂愚を嗤ひつゝあるのである、之れが充分なる利用の途を講じ、急速なる施設を加ふるは、木材調節の點より見るも、奧地開發の點より見るも、將た又天產物利用の點より見るも、頗る緊要なることである。而して今日營林廠に於いて施行しつゝある事業が果して此の

天產物利用 に萬遺憾なき方法であらう乎。營林廠は一千萬町步を擁し、三億萬尺締の蓄積を有する鴨綠江出張所の代採は年々僅に二萬餘尺締の伐採と流筏を為すのみである。之れが唯一の事業であるかの如きは、誠に隔靴の歎に堪へざるのがある、之れが唯一の搬出の路である豆滿江の流筏期間は鴨綠江のそれよりも更に短く今年の如きは八月中旬に於いて既に

筏影を見ざ る有樣になつて了つた。今年の例を以てすれば其流筏期は一年を通じて僅々二ケ月半に過ぎない譯である、其の原因は當局の語る所によれば「豆滿江の流筏は減水と涸水との爲めなるが如きも、多年同江の流筏に從事し居る筏夫等は異口同音に豆滿江の流筏不振は營林廠が河川浚渫の投下に吝なる爲めにして減水、涸水は其の主因にあらず。未だ一回も浚渫を行はず、時々姑息的の河掃除を為さず、巨岩の除石を為すに過ぎざれば本支流共に到る處、巨岩こ暗礁に滿ち居れり、然れば早天少しく繼續する時は忽ち減水して筏の操縱に危險を感ずること多きを以て吾々は乘筏を背ぜざるなり。今少しく河流の除石を行ひ暗礁の數減じなば、鴨綠江と同季間中は流下し得べし。」こ語つて居る是れは筏夫一二人の談話でなく記者が數十名に對して試みた質問の答の全部である。又某河川整理專門家は「豆滿江の浚渫は難工事にあらず。現在の流筏區間（延長[illegible]）に三ケ年繼續事業として僅々二十萬圓を投ずれば一切の除石を為し鴨綠江同樣に月より十月末迄六ヶ月間流筏し得べく今日の六七倍即ち十四五萬尺締の木材は優に流下するを得べし」こ語つて居つた。二十萬圓は要するに二十萬尺締の原木料にも足らぬ金額である。除石完成の曉は一ヶ年の原木料を以て回收することが可能るのである。小船一隻すら浮べ得ざる豆滿江の

經濟的價値 は唯此の木材流下に依つて保ちつゝありながら、其の利用が僅か木材二萬餘尺締に止まるのは甚だ惜しむべきことで、若し當局で浚渫に投下に便ならざる事情があるならば、民間に於いて豆滿江浚渫事業を起し、流下木材から料金を徵し資金の償還を期する方法もあらうと思はれる。

高尺度堰堤 佐野博士來鮮

水利及水力事業と密接の關係ある高尺度堰堤にして混凝土を以て造築する工事の計畫に對する研究の斯界の泰斗工學博士佐野藤次郎氏は今回總督府及び各地水利組合の聘に應じ客月廿四日來鮮東拓にて設計したる全北東津水利組合（灌漑一萬六千町步工費一千萬圓）並に任實水利組合（灌漑面積九千町步工費數百萬圓）兩計畫の堰堤を視察し三十日來城永樂町鈴木技師方に投じ居れるが二日午前總督府を訪問午後東拓支店に到り同社水利事業につき諸種の打合せをなしたりと

局部長會議

定例局部長會議は二日午前十時より總督府第一會議室に於て齋藤總督を始め各部局長並に所屬官吏參集諸般政務に就き協議する處ありたり

巨商擁護 金融の緊縮と鮮銀貸出方針

京城の金融は緊縮一方にて銀行の貸出警戒は愈々嚴ならんとしつゝあるが市中金融業者並に有力方面に於て鮮銀の巨商擁護貸出し方針に就き批評の聲多し右論難の根據は鮮銀がその資力の豐富なるを奇貨とし市中某々巨商方面に對する金融をその額に於て殆んど無制限の狀態に擴大し尙ほ資金の申込に對しては貸出しを自由に行ないつゝあり然も金利は市中諸所の商店が高利の必要に迫らず一流の巨商は低利の資金を自由に獲得し而して自由に活用し居れるため京城の金融は大部分緊縮なれども一部に於ては然らざる現象を呈し二流商店の地位は甚だ不利なり思ふに一流巨商は必ずしも鮮銀より

金融を受けず とも內地方面より資金を移入するに多くの困難なし故に鮮銀としては之等巨商の擁護に汲々として其の貸出しの膨脹を誇るより

鮮銀の同業方面の融通力を一層擴大し各銀行を通じ一般資金の逼迫を救ふは急ならずや 斯くいへば鮮銀の巨商貸出は畢竟移出資金の便宜を圖り居れるなりこの辯を試むるを常套とすれど所詮貸出內容を絕對秘密に附せる以上一種の詭辯たるにすぎず鮮銀がその巨商に貸出したる資金を如何なる程度に迄て監視し束縛しつゝある乎巨商連が該資金の用途を遵奉しつゝあるかは問ふを要せずして自ら明白なる問題のみ要するに

鮮銀が同業者 （其他の）部長若くは文書を以て貸出し制限の意を致すに維足らざるを恐る、風あるは可なり然も自行の巨商に對する方針に就ても同樣の態度を執るは急務ならずやと云ふにある如し

鮮銀側の所說

右の論難に對し吉田鮮銀理事は曰く（一）一流巨商に對する貸出しは數ケ月以前より制限し居れり（二）金融るだけ制限し居れるも移出資金にあらざれば必ずしも制限し得らるゝものにあらず（三）其他に於ても金利に於ても更に制限すべし（四）一般資金の缺乏を耳ずして巨商擁護をなす如き事はなさず唯從來の取引先に對し必要程度の資金を融通するのみ（五）資金の使途に就きては相當監督し居れりと云ひ要するに如何なる程度まで鮮銀の巨商融通の行はれ居れるかは明らかならざるため吉田氏の辯明も中心に觸れざれど各方面の所說を綜合するに鮮銀の自省を要する點は少からざる如し

信託銀行協議

一日在京城民間有力者にて現株市場に關係せる者を中心とする十數名は朝鮮ホテルに會合京城信託銀行設立に關する意見の交換を[illegible]行けたるが市場評價を選ばざる今日信託銀行の必要に就ては何人も異議なきも資本金を一千萬圓とするか五百萬圓とするか並に親銀行其他に就て尙一致を見るに至らず散會したり

鮮銀券 限外發行增加 發行稅の引上

朝鮮銀行の保證準備限外發行稅は從來六分なりしが通貨收縮の意味より客月二十七日政府の銀行券限外發行稅引上と同時に總督府に於ても七分に引上げ又限外發行限度二千萬圓なりしものを五千萬圓に增加を許可したり尙ほ廿九日の鮮銀券は一億五千二百萬圓の發行高を示せるが正貨準備は六千一百萬圓に減じ限外發行は四千一百萬圓に增加したり尙ほ限外發行增加の期限は資金需要旺盛のある期間に限り永久的のものにあらずと

仁川取引所出來高 手數料收入激增

仁川取引所の十一月中に於ける各限の賣買高は一千百十四萬二千石の巨額に達し米價の波瀾と共に未曾有の大商內なるが十月の出來高七百五十四萬石に比し三百六十四萬石を增加し居れり尙ほ當期の賣買高の累計は一千八百六十八萬四千石に上り手數料收入槪算三十三萬圓に上る由

軍高級參謀異動

軍司令部高級參謀山本鶴一大佐は前記の通り十二月一日附を以て浦鹽派遣軍參謀に補せられ八日發赴任すべく後任には宇都宮第十四師團留守參謀神村正氏大佐に進級し近く着任すべし

鮮銀異動 十二月一日附

浦鹽支店の新設と共に左の如く異動ありたり

浦鹽支店長 松山銀行部長 伊藤信郎
浦鹽支店助役 松田銀行部長
同事 股野貫之

立花中將着釜

立花浦鹽派遣軍司令官は一日夜釜山上陸同夜東萊溫泉ホテルに一泊二日東萊發午前十一時發列車にて北行す（釜山特電）

午餐會

三日朝入城すべき立花中將の爲め宇都宮軍司令官は同日正午官邸に於て午餐會を催すべく淨法寺師團長兒島參謀長も列席すべし

晩餐會

齋藤總督は立花軍司令官の爲め三日夜官邸に於て晩餐會を催すべし

◎鮮銀券日報 二十九日現在左の如し

發行高	一五二、四四〇、二七〇
正貨準備	六一、一三〇、二一九
保證準備	九一、三一〇、〇五一
限外發行	四一、三一〇、〇五一

訂正 今朝刊二面所載「密入鮮の途」記事中終りより四行目下方「[illegible]」とあるは「[illegible]」の誤に付訂正す

人事消息

▲安川東拓大連支店長 三日朝南大門發[illegible]
▲上田文三郎氏（東拓參事）三日朝釜山浦へ
▲宇都宮軍司令官 [illegible]
▲山本鶴一大佐 [illegible]
▲島高鐵理事 [illegible]
▲[illegible]

財界閑話

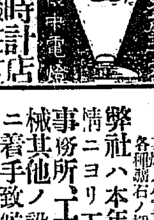
▲滿鐵當局も這回三千萬圓の公募成績を見ては面を曝らしてゐるように大きく出て來れば計策さへ一倒れさは情けない、然し利廻りは七分強であつて滿鐵の副價などは何も云ふべき事ではないのに此テイたらくだ大藏當局が民間の投機熱を抑壓せねばならぬと力味であるのも故ありと云ふべしだが法令で株の賣買に極端な制限でもやらねば此の大勢は中々動かせまい▲尤も投機は民間ばかりでなく內地も朝鮮も小金を溜めた役人は大抵やつてゐると云ふわ[illegible]▲一[illegible]西班牙公使が死んだ、彼は永らく外務省の通商局長を勤めてゐた、一橋出身外交官の出世頭である▲一昨年の夏であつたと思ふ、君が朝鮮經由西班牙赴任を際子は京釜線の車中に迎へたのであつた▲その時通商局長と云ふ職務は忙しくて人殺しですよ、迚もあの椅子に三年もゐれば何人も不治の病に罹る」――かう云つて淋しそうな吐息を漏らした▲君は局長在職中肺患に犯され遂に不歸の客となつたのである。溫雅端正人格の高い立派な外交官だつたが惜い事をした▲安東縣の滿洲銀行[illegible]は百四十萬圓の資本から一千萬圓に乃ち七倍の增資を決行するらしい▲同地の安東銀行も三百萬圓から一千萬圓に增資をするとのうわさだ尤も安銀はまだ未拂込金が少からず有してゐるからすぐと云ふわけには行くまい▲滿洲では資金はイクラでもある然し預金は殖えない鮮銀の誘引力はケチである結局資本增加に途を見出す外ないのであらう▲それにしても安東位の所に一千萬圓の銀行を[illegible]ようになるとは驚いたもだ

懸賞川柳 劍花坊先生選

朝
京城 能瑯坊
背ばかりの朝寢で金は減るばかり
仁川 利典坊
朝見ればこつてもつかぬ女なり
龍山 のぼる
新婚の朝も悲しい辨當箱
御破算が三度昨夜の酒の癖
朝に成り勸半開いて瞼を消し
朝見れば窠人形が鏡を著
永樂町 風來坊
ホネムーン宿屋の朝やすき

▲在鮮陸軍[illegible]二日
▲伊藤三[illegible]陸軍少將 今回陸軍々醫學校附を命ぜらる
▲國分李王職次官 二十九日午後七時五十分發列車にて東上
▲柴田[illegible] 十[illegible]
▲朝鮮[illegible]
▲三坂前馬山府尹 十日[illegible]
▲平安南北道警內視察中の處二日夜[illegible]

英國ジョナス會社製青紙附
平板 鐵板
佐野彥金物店 鑛鎔品工場 京城本町一丁目 電話一六三〇番 振替京城二二〇番


川合時計店 京城本町二丁目 電話一八二九番 振替京城二二九番

七十四回 新債券 一通一口十錢 千圓廿本、百圓二千本當出し
家庭的お樂しみ 一組あれば毎月くじが樂しめる（券料當社持）
天 六七、六八 七〇、七一 三八・六五
地 七四、六九 七二、七三 三九・〇五
人 四七、三、ち り、る、を 三八・三五
大券社債相場表御申越次第進呈 擔保貸付 一枚でも取扱ます

日本勸業銀行構內 債券相場 勸業債券月報社
振替口座東京一八番 本店
福岡市博多下吳服町 電話九五五〇 福岡支店
送料一口 金十二錢

十二月十四日 [illegible]

種類	賣値	買値
[illegible]	[illegible]	[illegible]

京 醬油は ▼何故によく賣れるか？ ▼値段が安くて品がよい！

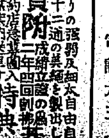
冬!! 旅行ニハ是非
□東京特製トランク
□弊店特製トランク
□實用専 柳織トランク
□二枚續毛布及ヒザ掛
□其他旅行用具各種
京城本町一丁目 高木鞄店 電話二五四番

絕對の有望株提供
配當三割確實なり
關東都督府年八朱の配當を補給せらる
[illegible]
資本金參百萬圓
大連市磐城町
宏濟證券株式會社
電話[illegible]番 電略「タイレンコサイ」

商標有權

特約販賣
京城 高島屋本店 電話九〇三番
仁川 高雄支店 電話二三〇番

▲黑色鑛山藥
▲硝安爆藥
鑛山、石山其他開墾ニ適ス
運搬、貯藏ニ絕體安全ニシテ殊ニ炭坑內ニ於ケル炭塵メタンガスニ對シ誘發ノ危險最モ少ナキ安全爆藥ナリ其爆力ハ「ダイナマイト」ニ匹敵スルヲ以テ採掘ハ勿論各種岩石ノ採掘其他土木工事ノ使用ニ適ス
弊社ハ本年四月創立以來各位ノ御同情ニヨリ工事モ豫想外ニ進捗シ既ニ事務所、工場、火藥庫等モ落成シ諸機械其他ノ設備モ略々整頓シ今ヤ製造ニ着手致候就テハ右製品格外ノ廉價ヲ以テ御需用ニ應シ可申候何卒續々御注文ノ程願上候 敬具
安東縣六道溝
滿洲鑛山藥株式會社
社長 佃一豫

天下一品
製繩
雄飛號

振りの强弱及細太自由自在
三十二通の異種を製出し得
貸附 二年四回割拂 其他
特約店を募集す
案內書送呈
大阪西區市岡町 東亞物產

◎セメント瓦豫約
特許セメント瓦京城、釜山、元山共本年中ノ製品全部豫約濟
來春ノ御需用ハ今ヨリ豫約願上候
京城明治町
特許セメント瓦製造株式會社
電話九三七番

水野總監激怒す
呂運亨問題が原因
事實とせば無理もない

上海より東上せる鮮人牧師呂運亨に對する中央政府某局の態度に付き在京中の水野政務總監は憤慨措だしく若し將來鮮地に關する問題一切總督府に一任する保障を得るあらば格別然らずんば總督及政務總監は辭表を提出す可き意氣込になりて原首相も之が調停に就き苦心焦慮中なりとの說あり成否は不明なるも某局今回の措置は甚だしく常軌を逸し居れるにつき之に對し政務總監が憤慨若くは激怒するは無理からぬ事なるべしと云ふ者あり（東京電報）

問題の人呂運亨
退京後行方が知れぬ
若し朝鮮に來たら？

帝都の眞ン中で朝鮮獨立運動の宣傳をやつた上海假政府の一員呂運亨に就いて其眞意を確かむる爲目下照會中だと傳へられて居る辯護士松本正寬氏を訪ふと氏は『未だ〳〵話は其處まで進捗した譯ではありません上京した一行の消息すら不明なので目下其行方を確かめて居る次第で今朝も特に至急照報で照會したのです行方が分つたら如何するかつて、夫れは未だ確然言明出來ませんが成可く同志二三と諮り國家の政策に悖らぬ如に處置したいと思つて居る呂氏が上京する際に全く個人として古賀廉造氏(拓殖局長官)に面晤する目的であると云ふので、充分諒解し得るにも拘らず其筋でも呂氏の自由を拘束した今日、東京の各新聞紙が報道したやうな不穏思想宣傳をやつたとしたら問題である殊に宗教家であり聰明であるべき呂氏が斯の如き不德義を敢てしたとも思へない、要するに新聞紙の報道が眞だとすれば恐らく呂氏の一行中に不逞鮮人があつて不穏思想を宣傳したのを名新聞が野次的に取扱つて呂氏の獅子吼にしてしまつたのではあるまいか又呂運亨は歸途朝鮮に

立ち寄る と噂されてゐるが萬々一にも不穏思想宣傳を開しつゝあるものとすれば朝鮮の地を一歩も踏ませたくない勿論當局に於ても何等かの措置は執られるに違ひないが自分等としても亦何とかしたいと思ひます』

忘れられる出征軍
慰問袋が一番の樂み
嚴寒と戰ふ苦を思へ

西伯利增兵問題も遂に沙汰止みとなつた、之につけても今浦鹽を本據としてイルクーツクを

最前線と し黑龍江沿岸を始め氷點以下十度十五度といふ各地の嚴寒を物ともせず過激派軍の掃蕩に奮戰してゐる我出征第五、第十の兩師團及朝鮮守備軍の一部と鐵道隊其他の特科隊は折角救援してゐるオムスク政府は日に勢力を失墜し過激派は次第に南下しつゝある際だけに其勞苦は頂點以上であるにも拘らず世間からは殆ど忘れられたるの觀がある

恤兵部も 何とか慰問の手段を施したいと焦心してゐるが更に同情者がないと云ふ、之に就き陸軍當局は語る『西伯利の天地は既に白雪皚々たる銀世界と化し最も暖かいといはれてゐる浦鹽でさへ昨今は日中でも氷點下五六度で黑龍江の沿岸地方になると十三度と云ふ嚴寒である、ババロウスキーやイルクーツクなどの都會地に駐屯してゐる部隊は露國時代の官衙や兵營を宿舍に充てゝゐるから日常の

起居には 差支ないが淋しい村落の掘立小屋に寒さを凌いでゐるものは身を切らるゝ程である、夜間の勤務などは到底一時間とは勤まらない寒さである、三十分も靜止して居れば靴が足に凍り付く程で此嚴寒と戰ふことが第一の苦痛である、防寒具は十分に行渡つてゐるから此點の懸念はないが出征してゐる軍人は內地からの溫かい同情が何よりの慰安になり

之を樂み にしてゐるが本年三月頃からは慰問品の寄贈も減つて慰問品の如きも漸く數日前に繪葉書と菓子袋を贈つたに過ぎない、昨年秋頃までは隨分澤山な慰問袋や金品の寄贈品があつたのが本年三月には八百圓、四月には二百卅七圓、五月は一百二百圓、六月は三百二千二十圓、七月は二百二百八十圓、八月は五百八十圓、九月は二百千十一圓で十月は三十圓あつたばかりで十一月になつては一口の寄贈もない

出征軍人 は菓子類や繪葉書などを非常に喜び殊に慰問袋は最も興味があるのでそれが來るのを樂みにして待つてゐるのである、出征軍が荒寥たる西伯利亞の野に苦闘してゐる苦勞に對し世間の深い同情を此の向に[illegible]

稅關長になる郡山會計課長

大賣出しの街
歲末氣分を漂はせた
客の心を唆る簞笥や時計

[illegible]街行く人の足どりも慌たゞしい師走が來た。殊に南大門通りから本町通りにかけては今月に入ると同時に華々しい

裝ひを凝らし て景氣を添へ一齊に賣出しを開始して居る。南大門通や本町各丁目の如きは例年の通聯合景品附き賣出しを行ひ、南大門通りは藤木商店側に、本町一丁目は百川銀行前に、同二丁目は電氣會社前に、同三丁目は商銀支店前に各

景品引替所 を設け例に依つて時計や簞笥其の他の景品を積んで客足を曳いてゐる、而して羽子板などが小間物屋の店頭に並べられたり明年度の日記が雜貨の店頭に堆く積まれてゐるのを見れば全く暮らしい氣分がする

景氣に關し ては賣出し早々のことて見當がつかないが呉服反物類を始め諸物價の騰貴は何んな景氣を生み出すかは月半ばを過ぎねば判るまい

綠泉亭に
李堈公は當分
萬事は宮內省と協議の上決定

新義州より御歸還後南山綠泉亭に御起居中なる李堈公は其後德壽宮に御移轉のことに內定し公も亦其思召あり李王家に於ては取急ぎ御居間其他の修理を取計らひ數日前既に完成を告げたるも其後の遺に模樣變じ當分現在の儘綠泉亭に御起居のこととなれる由にて孰れ國分次官東京より歸任の上宮內省と協議の上決定せらるべく或は寬勳洞の公邸に御歸還の運びに至らずやとも傳へらる

白米騰る
一升五十七錢

米出廻り期にも拘らず期米高に押れて米相場は毎日騰る一方市內の小賣相場は一日から又復一錢の値上げを行ひ一升五十七錢と云ふ新高値を現はした、未だ〳〵當分は騷氣な大相場に乘つて下落する見込がないと云ふ

本社後援の狩獵大會
新入會者の出場も許す

本社後援朝鮮獵友會の狩獵大會は愈々來る七日(日曜日)京義線一山驛以北に於て催すべきことは既報の如くなるが競獵者は同會員に限られ居るも折角の催しを盛大にするの必要あり又出場希望者の爲めに同會にては特に新入會者を歡迎する由なれば希望者は至急明治町一丁目龍川銃砲店內朝鮮獵友會宛入會を申込み同會の承諾を得たる上出場ありたしと

新しい在鄉軍人へ
除隊後の心得

二年若くは三年の現役を終つた除隊兵は歸鄉すると直ぐ休めの暇もなく夫々の業務に從はねばならぬのである京城府の兵事係りは『除隊後、歸鄉したら直ちに其旨を屆出なければならぬことは在鄉軍人心得にて示してあるに更に所在の在鄉軍人分會にも申出で其所在の在鄉軍人分會に入會すべきである……即ち除隊歸鄉した者は何うも此除隊兵が分會と連絡を執る事が巧く行かぬやうである之は分會役員の責ばかりでなく會員各自にも責があると思ふから此點各會員も此點に留意し會務に幾分の努力を爲すと共に、除隊兵に於ても是非、軍人會と連絡を執り分會の發展を計つて欲しい、京城では大和町[illegible]があるから未だ連絡をとらぬ除隊兵は至急に分會に對して申告し入會の手續を終らねばならぬ』

兎狩らずの記 (5)
兎狩らずとはザツト斯麼もので御座る

一同へト〳〵になつた體を引摺つて平山牧場に引上げたのは午後一時近くであつた兵站部係の準備は最うすつかり出來上つて居る。場主が懇篤な接待はホツ〳〵と嬉しい出る兎代りの豚汁土瓶酒に頭大の握り飯と平げる愉快さは又格別で午近落るゝばかり、午後は和氣藹々裡に解散したのは日も後に過ぐる二時、獲物こそ無けれ剛健の氣は充分に養ひ得た。負け惜しみに虹の如な氣を吐きながら家路に急ぐ姿を朝鮮鳥が嗤つて居た稱して兎狩らずの倚と云ふ

連絡船の空航
南行列車故障の爲め

二日午前五時五十分釜山に著すべき南行列車は途中鳥致院驛に於て機關車に故障を生じ遂に釜山より救援車を派したるが是れが爲め同列車は豫定よりも約一時間半を延著し二日朝發連絡船は貨客の連絡を爲さずして出港せり(釜山特電)

來年の休日調

二日續きは一回 二日が與ふと云ふ事が迫つて來たそこで來年の暦を開いて見ると我々の喜ぶべき休日祭日の二日續きは一月三日の元始祭と四日の日曜、四月三日の神武天皇祭と四日の日曜との二回よりない、それから我々の步の悪い重なりあふ日は三月二十一日の春季皇靈祭、十月十七日の神嘗祭、十月三十一日の天長節祝日の三回、次に一日間のが、七月三十日の明治天皇祭と八月一日の日曜、八月二十九日の日曜と三十一日の天長節、十一月二十一日の日曜と二十三日の新嘗祭とこれ又三回ある

妾と共謀で
鮮人より九十圓を詐取

龍山大島町二十一番地古物仲介業(定)馬場生れ岩本幸一(三七)は數年前より前記の場所に於て住居し古物仲買業を營みゐたるが今年前になりたる爲め悪心を起し[illegible]

九十圓を 出金せしめ[illegible]夜に至り突然子供二名を從へ行衛を晦ましたり李は同人と同棲し居たる妾カツノが元町一丁目百八番地丸田作一方に潛伏せるを探知し所在を尋ねたるも知らぬ存ぜぬと却て李の愚を嘲笑するを以て妾と共謀し詐取したるものと認め李は今回說諭方を龍山署に提出せり目下取調中

くれ〴〵の用心
これから世間が物騷だ
詐欺、窃盗、集、博奕、强喝など

早や年の瀨が眼に迫る寒さと共に[illegible]

某當局者は 語る之から年の瀨の犯罪が簡用する所に就いて見ると[illegible]

赤裸にしたる新獨逸 (上)
渡邊醫官よりの最近消息

外遊中の總督府醫院醫官渡邊晋氏が瑞西バーゼル市から芳賀院長に寄せた左の書信は最近の獨逸の眞相を窺はしむる新しい消息である『內村、久慈、久德三君と此の朝鮮四人組が揃合して朝早くも入獨した日本人……[illegible]可を得て私的に入獨するので、何れも二三週間位の視察者ばかりで期限なしに半永久的決心を以て入獨する者は極めて少數のやうです。

懷舊談に 花を咲かせて居ります、當地は十月と云ふに最早全く冬季の氣候と成り日々陰鬱の日が續いて日光を見ること少く不愉快の極みです。條約の批准は未だですが日本人の獨逸へ入り込む者は却々多いやうです、夫等の歸來者から直接に聞く獨逸の情況は

意想外な 事が數多くあります。今の處獨逸に入る日本人に對しては日本公使館は少しも保證せず單に獨逸公使館の[illegible]

久原三井 橫濱の茂木商店等は早くも既にハムブルヒ其他に支店樣のものを設置して殺目なく活動を開始し可成り多數の日本人店員も入獨して居る趣きです。以下樣々な種類の人々から聞いた事柄を綜合して申上る事にしませう。

戰時中の 獨逸食糧の缺乏して居た事は意外に甚だしかつた如く現今でも未だ〳〵不充分の域を脫しません、人の顏色の惡くなつたのも夥しい者で殊に小兒や老人は營養不良の爲に痩せ衰へて見る影の無い容貌の者が澤山あります。戰中

食糧欠乏 の程度は獨逸邦の部分によつて差異ありバイエルン、ウルテンベルヒ、バーデン等は餘り甚だ缺乏には陷らなかつた如ですがプロイセンは最も慘狀を極めたさうです現今でも南獨は食糧に左程の困難を感ぜず居るに引き替へ北獨は非常の

窮乏に襲 はれて居ります。戰時中には之等の小王國の食糧の國外移出を制限した爲めにプロイセンは殊の外細民の困窮を強めた相です。然し獨逸國民の勇氣は沮喪して居ません、休戰前に於ても勞動者職工等の一部者の除く他は尙戰爭繼續の

勇氣が滿 ち充ちて居た由で、講和條件の過酷なるは社會共和黨が聯合側に欺かれて革命を起した爲めでカイゼル政府ありしならば斯かる憂目には會ふまじきになど今に帝政時代の大獨逸の夢を見て居る者も尠くないやうです。』

留守勝ちに

なると主人から頼まれたと稱して金を騙取して行くのもあるから其場合には成るべく主人の出先其他を問合せ確めてから使ひの者に渡す樣にして欲しい、空巣狙ひも殖ゑて來るから歲末には戶締りをすべく一家を空にする時には戶締りを嚴重にし隣などにしつかり賴むのが安全だ又夜に入ると戶締りの不注意からコソ泥が忍び込むから戶締りを嚴重にし敷居框に長い釘を差し込むのもよからう便所の掃除口から往々にして賊が入るから此方の注意を怠つてはいけない、それに中には不徳な會社員だ瓦斯會社員だとか

便所掃除だ とか稱して室巢を覘く者があるから又掃除して樣子を見て置くことがあるから注意を要する若し怪しいと思つたらよく其男の人相其他特徵を認めて置いて被害を受けた時には直ちに訴へ出で其際に先に覘ひに來た人相其他特徵を述べれば搜索上非常に好都合である又年末年始のお交際だと云つて組合や會社などを稱して金を取つて步くが之などは容赦なく斷つた方が一方市民諸氏にも充分氣をつけて貰ひたいと

開橋の中止

大正八年十二月五日より解氷期に到る迄鴨綠江鐵道橋梁の開閉を中止する旨三日告示を以て發佈さるべし

[illegible]の火災

咸鏡線機關庫及び工場二棟は一日午前四時火災起り燒失し尚格納しありたる機關車二臺をも燒きたり原因は新夜格納せる機關車に石炭の燃滓の殘り居たるに因る(元山特電)

早朝の火事

三十日午前四時頃義州通一丁目五十五番地漢城薪炭市場內藏置場より出火したれば直ちに南大門消防組馳せ付けしに依り同藥材物置一棟約八間を燒却して同四時二十分鎭火したり原因は煙草の吸殼を落したるものゝ如く損害百五十圓の見込みなりと

窃盜

住所不定李壽喆(二十)は十一月廿七日寬勳洞百九十七番地東亞煙草會社倉庫に忍び入り死南洞九十五番地岡山榮三郞保管に掛る煙草三貫五百匁を竊取他に持ち行かんとする處を取押へられ鍾路署に引渡し取調の末窃盜罪にて檢事局に送らる

運動界

ス軍苦闘す
元山の野球戰

廿八日元山遠征の壯擧を企てたる紺青スタンダード野球團は廿九日恙なく元山著然も元山は前日來の積雪で泥濘脛を沒すると云ふ有樣止を得ず卅日に延期し同日午前八時より堅く凍てた氷野上で壯烈なる野球戰を擧行し先今村府尹の始球式ありて後元山軍先攻試合に入つたが元山軍優勢にて幾分か勝越して居たのをスタンダード軍力戰の結果遂に十四對十五Aと云ふ危き捷を得元山軍より寄贈の大花輪を擁し一同元氣よく歸城した猶同軍の陣容は

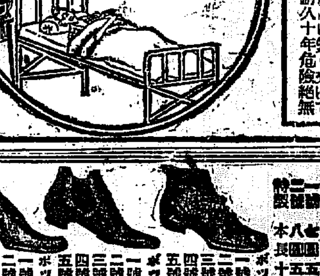
1	齋	木
2	乘	行
3	福	田
4	竹	鶴
5	鈴	木
6		ヲウリツタ
7	篠	田
8	滑	水
9	西	田

燈頃

去る廿九日本紙朝刊三面『[illegible]公の聰明を蔽ふ御附きの人々』と云ふ記事を見て黑崎事務官初め德和宮勤務の人達が非常に氣にしてゐる由だ御附きの人々と云つても穴勝其の全部を指した譯ではないから安心して可なりである▲此程のこと、京城郵便局へ『姓名在社御中』と書いた手紙が舞込んだ流石の配達も之には殆ど當惑した▲披いて見ると種々考へ拔いた揚句本社に配達した▲披いて見ると養子に行きたいから心配して呉れと云ふ文面然も其の希望條件が却々振つて居る▲曰く相當の資産を有せる人にして田地の多い人(二)家庭は五六人位の處(三)京城市中でなく少し市より離れた處にて家庭職業は金貨が賑やかの處(四)戶主は老かし人の人で夫婦だけの處(五)錢湯學校へ出す樣にして貰ひたしと云ふのである▲此の樂の好い男は、平南鮮原の某と云ふ、今年十八歲になる少年……

賣地
龍山元町一丁目
坪數 約三千五百坪
分割應御相談
管理者 京城本町二丁目 森久商店 電話三五〇番

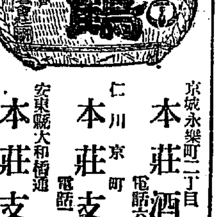
內務省衞生試驗所證明
專賣特許 オゾーン發生機
流行性感冒再來!! 轉はぬ先きの杖



咋秋から本春にかけて全世界を荒し廻つた流行性感冒又復歐米各地に猛威を逞しくして居ます、輕んずる勿れ昨冬我國のみにて二千九十四萬幾千人を惱まし二十五萬餘人の生靈を奪つた流行性感冒は何れも最初は極めて輕微な感冒を[illegible]何時の間にか肺炎に變じ遂に貴重なる生命を失ふたのであります……我當時に……何に……風位い……と
專賣特許オゾーン發生機……を活用せられた方は誰一人肺炎を併發せざりしのみか感冒も容易に回復し尙且其偉大なる效力はあらゆる呼吸器病(肺病、喘息、百日咳、肋膜炎)不眠症、食慾不進、貧血症、神經病等を殆んど奇蹟的に全治せしむる實に文明の賜らした治病衞生器の權威たる事を一般使用者に感歎せしめたのであります
オゾーン瓦斯が呼吸器病に有效にして且殺菌力偉大なる爲め室內の空氣を理想的に淸鮮ならしめ延いて吾人活動力の根源たる血球の働きを極度に旺盛ならしむる爲め弱者は之によりて救はれ壯者は益健康を增進すことは內外諸大家の一齊に首肯する所•病を恐れ•健康を慾する人は•速かに•一機を•御備へあつて•一家擧つて健康を保持されん事を
說明書無代進呈 本日迄に御申込あれ
正價金四十五圓以上各種 外に荷造運賃一圓五十錢以上
大阪市西區江戶堀 發賣元 オゾーン化學工業株式會社 電話土佐堀(三)二 振替大阪四九二
有力なる特約販賣店募集
本機は單に電燈線に繫ぐ丈にて他に原料不用耐久十年危險絕無

履物卸商 三好屋
釜山辨天町二丁目
電話一一一三番 振替京城六八三七番
地方御注文歡迎仕候

優等淸酒



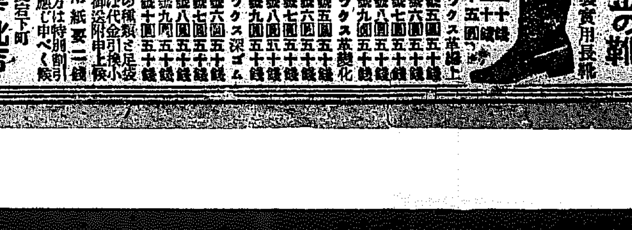
京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番
仁川京町 本莊支店 電話二六番
安東縣大和橋通 本莊支店 電話一一七番

平壤京谷商店製 耐火煉瓦販賣
京城古市町 苫米地商店 電話九四一、三一〇八番 振替京城五一三番

確實は 弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ
材木商 城山組 下關市[illegible] 電話長二〇九番 振替下關五[illegible]

ユートピア 一名金屬磨液
定價一瓶一圓 送料十八錢
眞鍮、銅、ニツケル、錫、金銀其他總テノ金屬ヲ磨クニ手數ヲ不要品質ヲ傷ムコトナク、然モ價至テ廉ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル
京城日報社代理部 振替京城三〇〇

東京三金の靴



ボックス革製實用長靴 特製一號 七圓五十錢 二號 八圓五十錢 本長 十五圓
ボックス革編上 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス革短靴 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス深ゴム 一號六圓五十錢 二號七圓五十錢 三號八圓五十錢 四號九圓五十錢 五號十圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足袋の文數通知あれ代金引換小包送料實費にて御送附申上候
▼目錄寸法用紙要二錢
▼御買御希望の方は特別割引便宜御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六一九 振替東京一七二三〇

荊妻ダイ子葬儀の際は御多忙中態々御會葬被下難有奉深謝候尙雜中御尊名伺ひ洩れも難計候間乍略儀紙上を以て御禮申上候
十二月二日
大堀志津雄
親族一同

第五版

受渡しの疑義
四平街取引所

杉田四平街取引所長は取引所仲買人を招集して左の件につき意見を徴したるも取引人としては尤も重要問題なるを以て研究の上復答する事としたり
（一）受渡現物標準は滿鐵會社四平街驛混合保管物を以てするや又は全然別ものを以てするや
（二）品質標準は滿鐵會社混合保管者の中位を標準とし其圏外上下につき金八錢宛を高下する事及び品質中位の範圍を並頭程度迄伸縮するや

從來滿鐵會社混合保管物の受渡は大連又は營口を以てする事が滿鐵會社の原則となり居るを以て一應託したるものを現驛にて自由に左右し得るや標準品位の範圍を廣大ならしむる時は受渡しにつき苦情を生じ狹少に過ぐる時は荷主側の苦痛甚だしく又大連の如く標準程度を高管中位とし其圏外に上下する者は金八錢を加減する事とせば現在の高銀高の際はさしたる苦痛を發せざるも若し交換率が平調に復したる暁は邦人側の蒙る打撃少からずと云ふにあれば充分精細調査の上復答する筈にて杉田所長は此答案を提げて旅順へ出張する筈なりと云ふ（四平街）

銀價持續か
滿洲商工業者の苦痛

近來銀の騰貴は何れも意想外とする處にして二十七日の如き日鮮百圓に對し四十三圓と云ふ悲觀すべき高値を現出せるが蓋し若干の消長はあらんも大なる低落は豫想し得可らず而して大連に於ける土木建築業其他諸工場使用の支那人給料は多く銀建を以て支給し銀價變動の不安を免かれしめ居りしが近來の如き銀價の騰貴に遭ふては銀價時代の價に二倍強の支拂ひを爲さざるべからざるを以て支那人使用の一般商工業者は大なる打撃を蒙りつゝあり（大連）

鴨江結氷近し
十二月の四五日頃か

十一月二十八日鴨緑江の結氷狀況を見るに安東、新義州の兩岸共結氷非常に厚く又流氷非常に盛んにして舟運の便全く杜絶し此の儘にて推移するに於ては十二月四五日頃全く結氷を終る可しと思惟せらるゝも或は潮流の關係により十五日以後となるやも推知するに由なし（安東縣）

國境通信
安東支局　鄙山生

◎鴨緑江の結氷期も既に眼前に迫りたる爲め大利丸克山丸は何れも不凍港に向け退帆し纔に小蒸汽の往來を見るのみとなれり本年の結氷期は昨年と大差なかるべく十二月十五日前後なるべし
◎無盡砲なる銀價の暴騰は輸出貿易業者及び木材業者に甚大の打撃を加へたるを以て木材業者の大部分は支那料棧に對し材價の支拂日延期方を交渉中なりしが本稿締切迄には何等の内容を聞くを得ざりし
◎安東信託公所は廿五日より愈株券部の開業を見たるが同日はホンの皮切りにて是迄標準價格なかりし爲め其手合せも渺少なりしが其の推移にて八氣株は[illegible]株にて四十圓處にて少數の手合せありたり
◎安東商業會議所の書記西澤助氏は十一月廿五日附を以て同所を退きたるが十二月一日より安東民團書記として就職するに至るべし此後任次席書記は物色中なるも人選頗る困難にて急に決定を見ざるべし爲めに同所の事務は大に澁滯しつゝありとの噂あり
◎資本金三百萬圓の滿鮮坑木株式會社の最終發起人會を廿五日午前十時より安東公會堂に於て開催せり六萬株の内三萬株を滿鐵にて引き受くる事は既定の事實にして殘餘の三萬株を發起人賛成人にて引き受くる事に決定したる筈なり
◎流行性感冒益々猖獗を極め小學兒童の缺席數も日々增加し一日百二三十名に達するに到れり鎭市中の死亡率も非常に增加し一日十七名の死亡者を見たる事あり爲めに各寺院の火葬は非常に繁忙を極めつゝあり
◎資本金百萬圓を以て目下株式公募中なる鮮滿染料興業株式會社は二千株の公募なるに拘らず豫定前より既に數倍の超過を見たる由なれば締切の結果は豫想外の好成績を呈すべし同社は現に操業しつゝある建興公司の工場を買收するものにて安東縣六道溝に染色工場を新築する者にして會社は來る十二月十五日を以て創立總會を擧ぐるものと期待されつゝあり
◎朝鮮商業信託株式會社は來る十二月十四日頃創立總會開催の豫定なるが朝鮮に於て信託會社として許可せられたるは同社を以て嚆矢とするものなれば將來の發展著しきものあるべし

染料興業株成績

資本金百萬圓の鮮滿染料興業株式會社の株式公募二千株の成績は未だ全部の報告未到着なるを以て精確の事は知るに由なきも義州に於て七千二百四十株安東縣に於て二千六百に達し約五倍の成績なりしが更に鎭口に於ても二三千の申込みありたるべければ先づ上々の成績と云ふべし殊に同株は民國人の希望非常に多く安東新義州方面にては二三千と纏まりたる發起株の分讓を請ふもの多かりしと（安東縣）

◎撫順製材創立（安東縣）資本金三十萬圓の撫順製材株式會社創立總會を去る二十五日撫順に於いて開催し各種案件を附議し無事成立したり重役の氏名は左の如し
取締役坂本惟、荒川六平、加來晋吉、平尾岡太郎、田中廣吉、西脇邦六、堤八郎、監査役多賀淺次郎、上田寅太郎、牧野逸四郎
◎鐵工會社總會（安東縣）安東鐵工株式會社第一期定時株主總會を來る十二月十五日公會堂に於て開催營業報告其の他の各件を附議する由なるが同社は開業[illegible]

初冬の夕　＝田[illegible]造＝

木から紙になるまで（上）
朝鮮製紙會社參觀記

安東縣の朝鮮製紙株式會社工場の視察記より鴨緑江上流の處女林から伐り出された木材が紙の原料パルプになるまでの順序を記す（安東縣にて靜山生）

紙の原料 パルプになる木材は種々あるが主として樅杉で鴨緑江は杉松を主なるものと云はれてある杉松は樅と略似た木であると云ふ事を一言加へて置きたい扨て製紙會社で一箇年に消費する木材は約廿萬尺締一日の消費量が約六百尺締こいふより見て其の材積の夥からぬも略察することが出る筏が[illegible]の所謂懐しいと云ふ新義[illegible]に着いた筏は紙會社専用の貯木池に入れられると更に

貯木池 より一本宛お行儀よく器械力によりて引き上げられて候工場入口の貯木池に納まり同じくスルスルと引き張られて鋸斷機と云ふのにかけられて鋸斷（此は讀んで字の如く鋸で切斷）して長さ約二尺五寸内外に切斷されるのであつて、それから次に

剝皮機 にかゝりてクルくと何の造作もなく皮は剝ぎ取られる而も其剝脱されたる木の皮はパイプに吸ひ取られて蒸氣罐に運ばれて石炭の代用品として燃やされる剝皮機にかゝりて後は剝木機にかゝりて二片三片五片と割られる割木器は器械の太い斧であつて斧に擲れたと思へばパリくと

氣持ち の好い響を立て、割らる、次に鉋屑機と云ふもの、中に木片を挿入すると所謂木ッ端微塵に碎けて中揮うそれがチップと云ひその鉋屑機を[illegible]る、今度はエレベーターで以てあの高い蒸煮鑵の中に運び込まれる扨て原料が木ッ端になるまでの順序は[illegible]

硫黄を 主とする原料によりて亜硫酸石灰液なるものを上部より詰込まるゝと[illegible]あつて拳位に打ち碎かれた石灰が一方には亦石灰釜なるものが出來る此の亜硫酸石灰液なるものは蒸の蒸煮釜に納まつた木ッ端即ちチップに注がれて八氣にて二十三四時間蒸煮される此の蒸煮の目的は木質中の非纖維物を溶出して

木纖維 を分解するものである相な木材蒸煮罐は鐵製であつて内面には鉛板、セメント、耐酸煉瓦其他の材料を以て完全な設備を施した圓筒形の直立固定罐である

商況

株式

東京現株（二日中途）

銘柄	掵込	寺	買
郵納	100.00	△二五七、〇〇	
東銀	[illegible]	△二三〇、〇〇	
日新	[illegible]		
東拓	[illegible]		
一新	一、[illegible]		
東殖	四〇、〇〇		
朝鐵	[illegible]	一二三、五〇	

東京株式（二日第一立會）

銘柄	値	前日比
東株	四六九、九〇	二六、〇〇高
新東	四七二、五〇	一九、五〇高
鐘紡	一八二、四〇	六、一〇高
一新	一七五、四〇	二、四〇高
一新	一四六、九〇	四、八〇高

大阪株式

銘柄	値	前日比
大株	四六二、九〇	六、八〇高
新	四六七、五〇	
新	二五八、八〇	二、五〇高
新	一三三、一〇	一、五〇高
紡	一六七、〇〇	二、五〇高
新	一四九、八〇	七、〇〇高
紡	四五四、九〇	九、九〇高
新	四四二、九〇	九、五〇高
紡	三三一、一〇	二、三〇高
新	一一七、九〇	四、八〇高
商	二二一、〇〇	一、九〇高
取	二三五、〇〇	二、〇〇高

京城現株

銘柄	掵込額	寺	買
仁取	五〇、〇〇		一八〇、〇〇
朝鐵	五〇、〇〇		四二、〇〇
電興	五〇、〇〇		一六、五〇
京取	[illegible]		[illegible]
馬車	[illegible]		[illegible]
朝紡	[illegible]		[illegible]
朝新	[illegible]		[illegible]
朝銀	[illegible]		[illegible]
朝新	[illegible]		[illegible]
毛	[illegible]		[illegible]
煙	[illegible]		[illegible]
土	[illegible]		[illegible]
中鐵	[illegible]		[illegible]
細日	[illegible]		[illegible]
信	[illegible]		[illegible]
證	[illegible]		[illegible]

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
安東信託	三九、〇〇	三
京電新	二〇、〇〇	
朝鮮製紙	三八、五〇	一〇
東拓二新	三五、〇〇	一五
日本郵船	一二二、五〇	
鮮銀新	一二七、〇〇	
朝鮮新織	一三七、〇〇	五〇
朝鐵二新	一四三、〇〇	一〇〇
商業銀行	一二三、五〇	三
東洋蓄貸	一一七、五〇	八
京城證券	一三二、五〇	二五
東亞煙草	一二二、五〇	

鐘紡新高値

鐘紡株は最近增資氣構へに大爆發を演ぜしが綿來引退尺進の步調を以て漸次新高値を現はし居りて今朝又も新高値は三百六十圓に寄付きたり右は彼の勞働問題の爲めに婦人の夜業禁止及び九時間制の實行を見んか自然生産力の減少すべきは必然なれば之を補ふ爲めにも事業擴張の必要あれば出際武藤氏が從來の主張を提げたりと云ふも强ち揣測を許さぬ見込みが全くありとの觀測も且つは紡績高の影響にて今期よりも次期次期よりも更に次期こ利益を增進しつゝある同社は增資を爲さゞれば增配を爲すべからざる現狀に照し明ぱ同株は今の値頃にある代物にあらざれば今後一大爆發を演ずべしと豫想さる

南滿糖高步調

南滿製糖は出日來の諸株高こ[illegible]

公債株式現物問屋
丸五商會　京城永樂町一丁目　電話一四八番
有田長商店

北濱だより

命取りだ人殺しだと顫る恐ろしい別名をこつた上取株は褒日大爆發後はヂリ安步調を告げて全く前記別名の本性は何所へか消え失せた觀があつた▲處が素より尋常でない此株又も寂寞を破らうとするのは奇怪な事と思ふ本家本元の上海高にあつたのだが此の妙なる仕組の動きの例の策師の巧妙なる仕組の動きで一つは之れの背後に分の警戒を要する▲已に三井物産綿花部內には此上取のためにすれば行はれ易いのだから十二三萬五萬の資金を結果か鞏きたる連中もチラホラ正月を眼の前に控へて甚く細君の機嫌を損じあ

南朝鮮好人氣

目下公募中の南朝鮮鐵道株は頗る好人氣を以て迎へられ應募申込み盛んなり（馬山特電）

大連株界復活

先頃若しき緊縮を演ぜし大連株界も其後漸次氣勢挽回し來り殊に今は例の五品取引所設置等にも多少人氣を喚起せる觀ありしが現在最も底意强く好氣勢を示し居るは電鐵の株式であつて他にも其他は外觀賭の活況を持續し其他は外觀賭の活況を大連[illegible]

朝煙も不味

朝鮮煙草は東亞煙草軟化の影響を受けて幾分氣配ボケこなり今朝寄付三十四圓八十錢ドタを中値とし三十四圓より一圓を重ね一貫物多かりしが買氣餘り引立たず投げ物は既に三十四圓臺を潛り居れり

東亞新連續安

東亞煙草新株は特殊の弱材料とても無き模樣なるが昨今賣物頗る增加し早くも中値四十二圓の安値へこなれるが四十二圓擱みは相當の買物潜み居れりとも觀せらる

中先乘替へ續出

一日前場
今朝天候晴大各地入電不著なるも前日阪地の止高を移して買氣を又復産制し人氣强硬に立ち寄し盛に頗重く五十錢高中限は正米繫の旺と强氣筋の買上けを見たるも六十五錢の成物に五十五錢と押し先九十錢こ八圓高に寄付八十五錢こ下て中値を付けし見直したる上へ買込みしも賣急ぎ出て五十五錢こ押し先九十錢こ下ムタの突所け九十八錢こ頭重く追撃せしも押目は買氣旺盛に乘じ賣物は手放たるる▲第二節當出來不中申五十九錢より買方の乘替へに五十錢こ弱みしが押目は又軟派の乘替買あり六十錢の返し五十錢ご安値に小ぐりしも五十五錢こ下迫せしも買に人八十五錢ご返し一三錢を揉み五▲第三節當出來不中申五十錢高に寄付六十錢ご又た五十五錢六十錢付九十錢の間を高へ買九錢ご手堅く引▲第四節當出來不中申六十九錢が軟派の乘替買寢ろへず先九十錢こ手堅く押し付し先九十錢ご押し先八十五錢にて堅く引▲第五節當出來不中申五十九錢より現買に四十錢ご返し八十五錢ご押し五十五錢ご九十錢ご手に引付より五十錢ご落して四十五錢ご返し先九十錢ご締まりしも[illegible]

中先乘替へ續出

仁川期米

	當限	中限	先限
寄付	四八、三九	五一、〇七	五一、八〇
高値	四八、四〇	五一、六九	五二、四〇
安値	四八、三三	五一、四〇	五二、一九
止め		五一、〇〇	五二、一三

米況

東京期米特電
二日前場　寄付　四十九圓五十錢
二日前場　五十二圓三十九錢
二日後場　五一、五〇

大阪期米特電
二日前場　寄付　四十七圓六十三錢
五十一圓三十錢
二日前場　五一、四五

神戸期米特電
二日前場　五一、四九

下關期米特電
二日前場　[illegible]

鮮銀次第安

鮮銀株は其の後氣配稍々軟化し昨日來の舊株は東京入電によれば二百五十八圓新株は二百二十八圓と報じたる所後の五十圓新の二十圓當は右の値直に亘り押目を見するも果して底の賣買あるや否やは疑問とせられ一部には既に今の値頃を以て底値こ觀測する向あり

仁取前月出來高

仁川取引所の十一月中の出來高は十一月一日五十四萬三千石こ云ふ前日五十萬三千石こ稱し十一月の後半は一千二十萬石を示し前月に比し約三割の減少を見たるが之れを取引日數にて平均すると十九萬八千石となるが[illegible]

公債株式現物問屋
大阪、京原商店朝鮮總特約店
京城櫻井町一丁目　電話五七〇番、一八八一番　受信略號（ケイセウ）ニッ
新田證券商店

綿紡引締る

綿紡株は東京に於いて四十五圓前後に於いて四十三圓を天井に漸次下押し三十七圓五十錢迄の安商內ありたるが昨入電は三十九圓と報じ稍引戾し氣味を呈したるを以て今朝來七圓迄の買氣起れり

一般砂糖株も好調となれる結果漸次高模樣となり昨入電は定期先物四十七圓八十錢と入れ當地現物唱へも四十五圓を下らざる好況なり

線路內に不省 [illegible]

市場雜觀

二日　寄付　高値　安値　止め
五〇、九〇　五〇、一〇　五〇、八五　五〇、〇〇
[illegible]

二日　公定　一節　二節　三節　四節　五節
五〇、九二　五〇、九九　五一、〇〇　五〇、九二　五〇、〇〇

二日仁川米高　三十七萬〇五〇石
輸入　當限　中限　先限
五十圓　五十一圓　八十二錢

市場の新甫は[illegible]

仲買店
仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長一〇七、二六二、五五五

內地糯割安

糯は產地益々昂騰を續け昨今の生雖も荷主は各地高に益々高張り當市場は買入の氣味ち一層惡るしこ今朝は期米の鈍調を傳へて當市場は中白にて七十三四圓こし來ち一方に七十錢高で四十七圓十錢にて地糯新四十七圓近かくを唱へ居るも精米筋は一齊に手を染めされは相變らず無商內の裡に混沌狀態を持續しつゝあり

京城正米市場

今朝は期米の鈍調を傳へて當市場の買人の氣味ち一層惡るしこ[illegible]

仁川正米市場

當正米市場は期米の亂調に氣迷ひ深く人氣混沌として一定の見當を捕捉し難きも精米筋は高値の人の氣乘り減切り薄らぎ一面利食ひ一巡後こ物の手放しを避け居れる爲め賣物又乏しき方に[illegible]

釜山正米市場

內地期米の下押模樣に伴れ釜山正米市場も市況軟弱こなり一般四十九圓の下押模樣に伴れ[illegible]

粟ボンヤリ

粟は昨小安き機先こて今朝は[illegible]

▲大豆は新物二十錢安の二十八圓四十錢所にて九百叺出來古大豆三千九百叺出來

綿布閑散不勢

昨後場大阪入電三品當限七百三十錢先六百五十八圓綿布二銘二十一圓の移りなりしも當綿布界は市況不引立ちの機先銀行の貸出し警戒によりて金融上買方見送りの止むなき事となり商內漸次閑散に傾けるに連れ氣配も又次第弱りと云ふ成行きにて今朝は三ヱ一五百九十四圓見當を唱へられしも取手なき無の狀態なり

鐵板薄物荷間へ

一時品薄を唱へられし鐵板薄物は人氣の次第安に連れて市場に現はれ來る物案外多く殊に煙筒需要の一段落後にて當地は聊か荷間へ氣味を帶び茲年末接近に連れ眼先一層の惡化せんこする振合ひなり

平板小安し

亜鉛引平板は荷動き不振こ弗々輸入ある等內地小安き模樣にて當地手持筋も弗々軟化の色あり爲めに相場は純十錢方引弛み三十番の三圓三十錢見當に陷り當年內には豫想の三圓臺割れを見んこする傾向なり

仲買店
仁川米豆取引所仲買人　電話一五五九八番

砂糖漸く擡頭

久しく上伸みの裡に推移しつゝありし砂糖は爾來新規約定手控の結果市中在荷減退を示せる上海外相場連續昂騰を報じ尚眼先年末需要を控へ居れる等にて昨今漸く擡頭の機運を現はし來れるもの、如く此處下關渡しの三十一圓は總賣の振合ひなりこ雖も賣物乏しく會計建値の三十二圓を以てすれば當地相場は四十圓擱みに當るを以て自然之を目標に買進まれ目下の小口取引は三十八圓五十錢乃至三十九圓こ約一圓方を引締めたるが年末に迫まるに連れ尙多少の上向は免かれ難き模樣なり

下關米取引所仲買 桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度候　下關（取引所前）[illegible]

醬油値上廣告

謹啓寒氣の砌り各位益御清榮奉慶賀候扨而御承知の通り原料及容器の騰貴は停止する處を知らず不得已本日より左記の通値上實行仕候間不相變御引立の程奉懇願候

大正八年十二月壹日

▲大樽小樽共壹割五步値上

仁川醬油釀造組合
京城醬油釀造組合
大田醬油釀造組合
群山醬油釀造組合
大邱醬油釀造組合
平壤醬油釀造組合
鎭南浦醬油釀造組合（永登浦）
元山醬油釀造組合
大塚醬油釀造場（水原）
水原醬油合資會社
荒卷醬油釀造場（江景）

謹告

世界無比　木工機械　OLIVER　OLIVER MACHINERY CO.

從來弊社製品に關し遠隔なる當地へ御問合の向も數有之徒らに長時間を要し各御需要家の不便不尠と存候間今回弊社總代理店たる

紐育アンプレックス株式會社日本支社業務代表者
白洋商事株式會社
本店　大阪東區高麗橋五丁目廿五番地　電話長本局一六九六番
東京營業所　東京市丸の內仲通り第貳號館　電話長本局四四九一番

同社內に日本出張所開設仕候間東洋方面の營業上に關しては一切同出張所へ御申聞せ被下度願上候

米國ミシガン州グランドラピット
オリバー木工機械製造會社
最近本機は呉海軍工廠の新設工場用として多數御用命を拜す

株式會社仁川米豆取引所仲買人
金高田仲買店

▲裕福な新春を迎へよ

益々定まれる周知の高値に爆發し、軟派の活躍を閃く[illegible]

仁川海岸町三丁目
高田通信部
電信略符（タツ）振替二八一一九番　電話一〇〇番・長一

現物 仁川港 坂倉株式店
電話一三〇五番

鷄卵配達開始
京城本町一丁目五〇　守山鶏飼育所　電話五四二番

職業
特約店募集　大豐國商會　大阪天王寺大道一丁目

コールタール
金物商　島田忠作商店　電話四九番

共謀敎唆騙取（京畿道）

[illegible]が十月廿三日旭町三丁目十三番地金波樓に投宿中本町一丁目三中井呉服店に到り銘仙三反互に[illegible]

伊達騷動

第七十六席 小金井芦洲講演

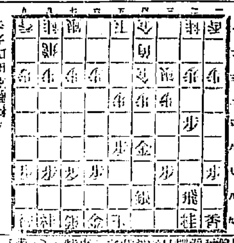
奇妙院の失敗

隠岐守は怖く品々を見て居られましたが 隠『シテ其の奇妙院と申す者は如何いたしました』兵『サア、餃前休息を申付けて置き申したから控所に居るかそれ共モウ歸宅をいたしましたか相分らぬテ』隠『是りや誰ぞある』役『ハ、ツ』隠『奇妙院と申する修驗者、未だ當館に在るか鳥渡取調べて參れ』役『畏まりました』御近習が立つて行つたが間もなく戻つて來て 役『ア、申上げます、未だ控所に罷りまする』隠『オ、左樣か、鐵之助方に申付ける、控所に參り此の奇妙院と申す者を此所へ引立つて參れよ』鐵『畏まりましてございます』鐵て夫れへ引立つて參りました 隠『ア、其方か、奇妙院と申すのは、就ては其方唯一寸御祈りを致したばかりでトの御惱四百四病の外、調伏のためと言ふことを申し、而も庭先の地中に埋ありし證據物を差當たる由、其方は當物が上手ちやが夫りや何でも出來るのか 奇『左樣でございます、法力に由つて致すこと、天地の間一つとして當らぬものはござりませぬ』隠『ホ、ウ、實にどうも法力高大のものぢやな、予は何歳に相成るか年齢を當て見イ』奇『バッ』田村殿の後に控へた甲斐人知れず指を三本出して跡から片手披けて見せた、是れをヒヨイと見て 奇『三十五歳に渡らせられます』隠『アー、夫れは不思議ぢやの、顔を見たばかりで年齢を當ると云ふのは偉い、是りやく申し付けし物を之へ……』隠岐守殿のお聲の下から若侍が次へ立つて行く、而だらうと思つて居ると此處へ持つて來たのがお具足櫃です 隠『奇妙院とやら、此の中を當て、見イ』奇『お具足で……』隠『鎧櫃であるから中は具足と云ふ、イヤ、如何にも道理だ、具足は毛綿にて何であるか』奇『ハイ……エ、緋縅……』隠『何ぢや』奇『萌黄、黒、市松……』隠『然う色々申したのには當るであらう、判然申せ』奇『萌黄縅にございます』隠『萌黄糸ぢやな、ア、好く當つた、是りや蓋を取つて見せて遣はせ』何が出るであらうと想つて見ると鎧にはあらず、大きな鉢に植た萬年青だ、アツと奇妙院顔の色が變る 隠『コーレ奇妙院、其方は何ぢやな、或者に賴まれて致した業だらう、大方は實白のために心曙み悪事に加擔の破僧に相違ない、憎い奴ちや、立所に嚴しく吟味を致すべき奴なれど何事も穏便な事とする當節柄、深く調べたら飛んだ處へ困る者も出來るだらう』ミジロリと兵部少輔の顏を見ながら 隠『コリャ鐵之助、奇妙院と申す賣僧を追拂へ』ここで奇妙院は這々の體で逃げ出す、兵部と甲斐は失敗喫驚、下俯向いて言葉もありませぬ、鐵て 兵『ヤヨ隠岐殿、天晴の活眼、ご云ひ恐れ入りたる妙計、奇妙院と申す者何者に賴まれて斯るここを巧しか……ここは知らずして招いたは私の過り、實以て面目次第もない』隠『伯父上、倦もく悪な巧を致する者がありますな、爭ふ迄もなく知れたこと松前淺岡が不義を働くことならば始終お館御傍に仕へる兩名、何んで手紙なんぞを往復を致しませうや、又お館御壽命を縮め奉らんとの非道を企つならば兩名ならば藁人形に五寸釘、左樣な面倒なものを拵へて調伏などを致さずとも、勿體なけご意の儀、ハ、、、イヤモウ恐かしこ云はんか、淺墓と申さんか、言葉に絶れた致し方……』と腹を抱へて哄笑した

日之出印刷名刺部
京城本町一丁目 日之出商行御部
御一報次第見本送呈

將棋新手合(二)

於京城黃金町三丁目二三五 滿呂木將棋會（電話二〇二八）
角落六段 △滿呂木光治氏（京城）
一段 ▲園田 豊氏（釜山）
（附は三三銀迄の局面）
▲持駒滿呂木氏歩



△二六歩 ▲三四歩 △二五歩(イ) ▲三三角 △三八金 ▲三二銀 △二七金 ▲四四歩 △三六金 ▲五二金 △四六歩 ▲四三金 △四五歩 ▲同歩 △同金 ▲四四歩 △四六金 ▲五四歩 △五六歩 ▲四二角(ロ) △四八銀 ▲三三銀 △五七銀 ▲三二金 △六八玉 ▲四一玉 △六六銀 ▲三一玉(ハ)以下次號

滿呂木六段講評
△(イ)二五歩突きこ早く指せしは力戰の趣向なり
▲(ロ)四二角引は早し六二銀上る方順なり
▲(ハ)三一玉は早し上手六六銀こ上り五筋より早仕懸の模樣あれば六二銀こ指すべし

九星

十二月四日 （舊）十月十三日 木曜日 ▲かのへさる ▲七赤

▼七赤▲考へた上手を出すべし
▼八白▲優美なる日にして仕事の思ふ存分に出來る好き日なり
▼九紫▲あつけなき日の樣なれご深く考ふれば味ひのある日也
▼一白▲萬事のこミ正しき道には進んで吉、但し考へてすこ可し
▼二黑▲賑やかな華美な日にて我ままへ出さずば愉快ならん
▼三碧▲盛威張りの利かざる日
▼四綠▲張り合抜けのする日なれご常變に續勵せば後に吉なり
▼五黃▲嫣々して暮し得る日なり思ひ立ちたる事は行ふて吉也
▼六白▲親しみのある日にて人懷かしき日萬事に用ゐて吉なり

神通力
を得んとする者は皇國古傳の秘法魂鎮神術の極意を提さ說明書無代進呈
靜岡市外北安東淺古傳授所

タオル
戸タオル衛生一手販賣
城京若草町四〇
卸商 上月商店
電話一〇三五番 振替京城五三三一番

皮膚科 外科 專門
京城大平通二丁目
扇田醫院
電話二三五八番

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三 大正館
◎當る廿九日より特種大寫眞提供 ◎實寫鯛魚の實況 ◎ノルデスク會社傑作 大活劇『昔に返る』 全四卷
◎日活會社より高尚大撮影 新派悲劇『添はれぬ仲』
◎日活會社 『樋口十郎左衛門』

電話二六〇番 浪花館
關西派橘圓次郎大一座
▲昔はなし ▲落語手品 ▲滑稽手品 ▲笑話手踊 ▲通俗講談 ▲音曲はなし ▲落語扇舞 ▲人情はなし ▲珍品一人角力 ▲笑話舞踊り ▲大切處作事鶴龜 社中總出
橘圓次郎

電話九七番 本町一丁目 壽樂館
當る十一月廿八日より三大映畫提供
◎實寫英軍の活動第二編 ◎滑稽チヤツプリンの衛兵 ◎ヴ社高級映畫 人情劇『娘心』 全四卷
日活向島撮影特作品 新派悲劇『櫻子』 全五卷 浮世の荒波に打たれ悲慘極めたる櫻子の涙物語……
日活京都派新派劇『[illegible]子典勝』 全五卷
○年中無休夜間開演

連日滿員 御禮
如沸大好評の 劍客復讐劇 新派大悲劇 泰西人情劇 を見逃し給ふな
大正館

天然色活動寫眞特約代理店 京城黄金町一丁目 電話一六三七 黃金館
當廿七日より特別興行三大寫眞
新派悲劇『人の情け』 全四卷
戰爭活劇『砲煙の影』 全六卷
怪奇劇『牡丹燈籠』 全五卷

りん病 消渇
困る方切手三錢送れ多年の慢性にも自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお教へ致し升
名古屋南かじや町 武藤亀吉

月經 流經新藥シヲリン
閉止四五ヶ月以內に齎實に其の目的を達し其効果他藥に優越して容易く應用に便利なるは一瓶壹圓廿錢送料四十五錢 說明書一覽切手添申越
大阪北區會根崎上二丁目三六地 常盤藥院 振替大阪一八三七〇番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 入院隨意
酒井婦人病院
電話一八〇〇番 酒井一郎

淫羊藿エキス
人參ニ優ル強壯劑
主効 神經衰弱 貧血症 腎臟病 肝臟病 胃腸病 生殖器病 ヒステリー 精力減退 老衰
定價 二十五錢 三十五錢 五十錢 一圓
本劑の服用に依りて貴下の精力は益旺盛こなり活動の能力は頓に增すべし
全國一手販賣 京城日報代理部

眼科專門
京城若草町（黃金町通り新道路中央）
金井眼科醫院
電話一五五六 設備落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

資本金參百萬圓
（明治三十八年設立）
常銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ取扱切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行

美味しく召上れ

あゝ旨い！と思つて召上るものは必ず滋養になります
家庭に味の素さへあれば美味しいものに不自由なし
三度の食事は勿論、和洋のお料理も御意のまゝ……

あらゆる夕べモノのアヂをよくする

味の素

東京理科大學教授
池田理學博士發明
日英米佛專賣特許
各地博覽會金賞牌

味の素 子供印滋養糖 本舗 鈴木商店 東京 大阪

何處の湯屋でも十人が十人揃ひも揃つて
今……美人間に流行の
純白美乳
を……必ず御携帶！

生地の白さ

純白美乳を用ひた人と用はぬ人とはその湯屋からの歸り姿を見ますれば一目して區別することが出來ます、何故ならば純白美乳は日本に初めて出來た美乳の強烈な白色素を基礎として創製された絶對に他に類のない美容料でありまして一滴の力克く若々しき婦人美を發揮し、生地からの白色美人となるには純白美乳を常用するのが一番捷徑であることは學者も常用者も口を揃へて稱讃する所、それ故に湯上りに用つた人と用はぬ人とはその生地の白さ美しさの相違でもすぐ解る道理であります、就中若夫人や令孃間に高評を博し、何處の湯屋でも必ず出るのが此の純白美乳の噂、湯上りの一滴は最も効果が顯著ながらであります！

▼湯上りの一滴は効果最も顯著！

使用法簡便で 一滴で すぐ白くなる！

美乳本舗 大阪市東區農人橋二丁目 矢野芳香園

京城日報　第五版

（年中無休刊）

發行兼編輯人　奥田直（？）
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

奢侈と農民

京城日報

近來物價の騰貴はます〳〵甚だしく、生活用品中には一年間の内に二度も三度も定價を更新したものがある位だから、著大の飾り氣のつかぬ奢侈品や娯樂品が昇大の勢ひで昂騰して行くのが當然である。概していへば現在の物價は大正四五年頃に比して三倍乃至三倍半に達して居るのであるが、此の恐るべき騰貴にも怯ず、品物の賣行は素晴しき勢ひで、中にも奢侈品、娯樂品は羽が生えて飛んで行くの有樣、是れ物價騰貴の爲に大打撃を受けつゝあるものは、所謂小服細民の精神的勞働者階級に限り、他の一切の階級は極上々の大景氣であるからと思はれる、就中地方農民は引續き米價の暴騰に伴ない、懐合が非常に好く鼓腹擊壤などいふ頗る原始的の痴態は疾くに脫却し、胸間には金時計がひらめき、衣服は絹物、毛織物の高價物に限るといふの勢ひ、或は一定の都會見物に數千圓を握り、生命の洗濯をするといふ大景氣、奢侈贅澤品が奔流の賣行も、是にて讀めるわけである。

全國に最多數を占めて居る農民が、右の如き境遇に在るのは洵に國家のために祝福すべきことで、之を大正二三年頃の農村救濟論の叫ばれし時代に比すれば、眞に隔世の感がある。古來農民は質素なもの、勤儉一方なものと想はれて居たが、何も百姓だからとて金時計を下げて悪い、絹物を著て不都合だといふ理窟はないから、出來る時に贅澤するも決して差支がない。然しながら吾人が一言注意して置きたきことは、一體世の中は繰り持である、農村の上に何時までも春風の吹いて居るものでない。一朝不景氣の風に襲はれた時に、贅澤になつた奢侈の風から脫して、復舊の勤儉節約に返ることが極めて困難なものである。此際に當り狼狽周章して衡らぬ覺悟が、今から肝要である。

元來人間の生活が次第に贅澤になる趨向を有して居るとは、大體さう原則ともいふべきであるから、今頃野暮臭き消極論を持出して、農民の奢侈を痛嘆すべきでない。然しながら一時的佛浮薄の風に吹かれ成金思想にかぶれたり、投機射倖の熱に浮かされたりすることが決して農村の爲のものとはいはれない。要するに今後經濟界の反動が起つて、不景氣の悲風が農村を吹き捲つても、自己の身は優に絹布を纏ふに足り、其の胸は金時計を飾るに足るといふ確固な自信があり、自己の人格も亦敢て之に耻ぢぬとの信念があるならば、如何に金錢を湯水の邊に棄てるも、他より異論を挾むべきでない。吾人は敢て此言を以て農村の諸君に質問を試みたいと思ふのである。

昔時の羅馬は奢侈のために亡びたといはれて居るが、其の奢侈が羅馬市民の間に限られた時分には、一國の盛衰に關係がなかつたが、漸次に地方に波及して、羅馬は一朝に滅亡したのである。今國民の最多數を占め、帝國の基礎たるべき農民諸君が、不健全なる氣風に浸染することは、實に帝國の危機といはなければならぬ。

現今の社會事業（三）

ウーヅ博士講演

社會事業の働きを或る人は一つの研究室にたとへた。御承知の如く研究室と云ふものは學術の進步の上に非常に大切なものであつて、科學者は單に頭の中で或は書物を讀んだだけで眞理を突き止めることは出來ない。更に研究室に入つて根柢ある所の材料を以て學理を築き上げる、ここに依つて其の研究を完成し得る。それと同じく、社會の諸問題は此の事業に依つて實際に改善し解決されるのである。更に私の申上げたいことは此の事業は民本主義の發達の爲めには實に必要缺くべからざるものであると云ふことである。デモクラシーと云ふ言葉も近頃は餘程廣い範圍に於て用ひられるが、要するに其の根本要求は個性の自由解放である。而も又一面から見れば是れは人間が共同一致の精神を以てお互に生活することを目的とするものに外ならないと思ふ。

私は今茲に現今の社會事業の内容に就て詳しくお話することは出來ないが二三の事柄に就いて述べやう。今日の社會事業が衞生上の智識及び施設の普及に盡して居ることは非常なものである。米國では是れが爲め殆ど十五年間に一般小兒の健康を著しく增進し從つて其死亡率は著しく減少し國民の衞生狀態に大改革を與へた。又米國の或

盲目の者は甚だ少い又生長の途中に盲になる者も極めて僅で、其の他は悉く出産の際の取扱ひの不注意に基くものである。けれども右の如き法令が實施せられるならば世の中に盲目者の數は著しく減じ遠からず私の學校は其の必要がなくなるであらうとのことであつた。私は先日大阪で或る集會の席上此の眼の話をした所、林大阪府知事も其の席に居られて私の話に全く同感の意を表せられ、今後自分も此の事に就ては特別の注意を拂ひ、場合に依つては府内の醫者と協議した上一つの府令を出しても宜いと云はれた。社會事業に從事する人が貧民の間に入つて行つて常に先づ驚かされるのは、彼等貧民が啻に無教育なばかりでなく職業に關する智識の甚だしく缺乏して居ることである。そこで貧民を教育し自らの腕で自ら得るの方法を知らさなくてはならぬと云ふことが近來米國の社會事業家によつて頻りに叫ばれ、其結果米國に於ては米國中央政府並に各州政府は莫大なる經費を投じて普く職業教育の機關を設けることになつた

有樂町より

（東京支局）

▲今度陸軍大將に陞進した島川文八郎氏は有名な腕力家である而も聞えた大酒家で時折泥醉の方で豪膽な話する奇癖がある▲一日何處に行つた歸りか一杯機嫌で車上の人となり『エイホー』の掛聲頗る景氣よく車夫は梶棒を把つて驅け出した途中の大將樣涼風に吹かれ乍らウツラ〳〵としてゐたが、忽ち何か氣に障つたものか見え『オイ待てッ』と呼ぶや否や車上より飛び降りた▲車夫は吃驚し乍ら俥を停めて大將を見返ると其瞬間忽ち俥を挽む取つて『何だ貴樣は』と許り言ひも終らず横手の溝中に俥を蹴落して悠々と歸宅した▲車夫の方では何が何やら理由がわからず『チヤ〳〵』と眼を白黒、しかし大將に陞進されてからはそんな事も無くなるだらうとの噂だ▲去る二十五日夜の總監招待會の席上食後總監から一場の時局談あつて夫れが終ると會員から種々の質問が出る▲主人役の江木政友會總務の挨拶もどこかに色々矢を向けるので此形勢を觀望してゐた滿鐵社長、次は此方が危いと思つたか松岡均平博士を促し何時の間にか二人で退去して了ふ▲一方では江木總務愈佳境に入つて『朝鮮の鐵道はやはり總督府でやつて居た方が都合が好いでせうな』と水を向けると水野總監狡からぬ顔で『そんな說も世間にあるやうですな……今恰度中西君が居なくなつたが……』と破顔一笑したので皆大笑ひ▲北海道へ杉山鐵道監督局長、留め男の格で『その問題はデリケートだから今暫く觸れぬやうに』でまた大笑ひ

生別死別

＝不許複製轉載＝

服部硯月

第六一　驚き

彼の時から二月も過ぎ、今日か明日かと待ち暮らして居る良人の來るを、毎日毎日待ち暮して日を送り、最早二月の末となつたが、一向良人の消息がなかつた、美代子は堪へ兼ねて、或日井上の許に行き、良人の行方を尋ねべく依頼した。

井上は其後二三日を經て、美代子の家を尋ね來り、驚くべき話を齎した。

要は打續いた寒氣の爲に風邪を引き、段々昂じて肺炎を併發し一月の末に歸らぬ旅路に上つた。そして市役所で、旅病死者として、染井の共同墓地に葬られた。

重之は要の死後、墓地の附近の寂しい裏長屋に間借りをしてゐたが、數日前突然に起臥してゐる内、僂麻質斯に罹り左の膝關節が痛み出し、歩行も自由ならず、見るも憐れに最早餘命幾何もないとの事である。

美代子は聞いて氣も顚倒せんばかり、其の驚きは例ふるに物もないのである。美代子も是から直ぐに夜を徹して染井の墓地に行くにし、そして此場合假令良人に叱られても、娘に隱すに忍びず、菊枝をも同道することにした。

『菊枝、一寸此處へ』

臺所で夕飯の後片附をしてゐた菊枝は、母に呼ばれて座敷に這つた。大晦日の一件以來比較的機嫌の良かつた母が、平常にない今夜の悲嘆の有樣を見て、娘は何の理由とも分らぬながら氣が氣でないのである、見れば傍にゐる井上の頰にも涙が傳はつてゐる。

『阿母さん、どうかなさいましたの？』

『菊枝さん、堪忍してお呉れ、皆お母さんが悪いんだから……』

菊枝は突然に詫られて、不審が晴れぬと共に、益々胸が騒がでない。

『どうなすつたの、ね、阿母さん、妾何も阿母さんに御詫される事なんかありませんわ、何か妾に悪い事があつて？』

『いゝえ、何のお前に悪い事がありませう、實は今迄お前の爲めを思つて隱してゐたのだが今となつては云はなければなりません、今母さんの云ふ事を能くお聞き、嘸お驚きだらう、又嘸お怨みだらうけれど……』

『いゝえ、何も驚きませんから其の儘の事を早く聞かせて下さい』

『それでは云ひますがね、あの阿父さまはね』

『はあ』

『お亡くなりになつた阿父さまはね、實は此の世にいらつしやるのです』

母は言ひ終つて又涕泣に咽んだ。菊枝は何と云つて宜いか分らぬ位、俄かには信じられなかつた。

『まア、お父さまが生きていらッしつて、さう、些とも知らなかつた、だつて此樣嬉しい事はないぢやありませんか、そして阿父さまは何處にいらッしやるんです、早く阿父さまを御呼び下さいな、それに何故母さんはそんなに泣くの？』

『ところがね、此處へはお招びする譯にはいかないのです』

『ぢや阿父さまの所へ行きませう、あの熊本？』

『いゝえ、此の東京です』

『まア東京、ぢや直ぐ是から行きませう』

『ね、一緒に行きませう、だけど……』

『だけど、どうしたの？』

『母さん、どうなすつたの？』

母も打明ける積りで口を切つたもの、是れまでは言つたが遂に今の身の上を語り兼ねた。

雜誌抄

菌の見分方（衞生會雜誌）

松茸や椎茸などは常に菌傘といひ色は枯褐色又は黑褐色をして居て決して美しくはありませんのに反し毒菌は赤或は綠など種々の美しい色が多くその色の黄色や赤紫色の美しさについ手に採りたくなるのですが此等の有毒菌と食用に供せられるものとの簡單な見分方は（一）銀貨を切口に當てゝ見ると其銀貨に曇りが出來黒く變色するもの（二）臭氣を發するもの（三）鳥渡舌先に當てゝ見ると舌を刺す樣な味のするものなどは必ず有毒ですから忘れても食用させぬ樣に若し中毒した場合には番茶を多量に飲むか卵の白身を用ふるか牛乳を呑むかした上指を咽喉に突き入れて嘔吐を催させ早速醫師の手當を受ける樣にせねばなりません

大日本原毛紡績株式會社株式募集

毛織會社の盛況と高率配當　毛織物の世界的缺乏に基因し毛織事業は當に百花燎爛の盛觀を謳はれつゝあるに際し本邦毛織會社は空前の業績を收め毎期莫大なる利益を擧げて高率の配當を持續しつゝあり今試みに各社最近の配當及株價を示せば左の如し

東京毛織株	（五十圓拂込）	五割	二百十圓
同新株	（十二圓半拂込）	同	百二十圓
東京モス株	（五十圓拂込）	三割	百七十九圓
同新株	（十二圓半拂込）	同	六十六圓
滿蒙毛織株	（十二圓半拂込）	六分	五十六圓
大阪毛織株	（五十圓拂込）	三割	百四十圓
同新株	（十二圓半拂込）	同	六十九圓

千住製絨所拂下と我社　此時に當り多年の懸案たる千住製絨所拂下が確定議となり近く實現せんとしつゝあるは民間毛織業の奬勵と毛織物普及に關する政府當局の眞意を最も明白に語れるものに外ならず今や我毛織事業の發展に對し千載一遇の好機にして製絨所拂下問題に參加の素質を有する本社の前途は赫々たる光明に充たされつゝあり

毛織原料の饑饉　然るに毛織物の需要激增に伴ひ原料羊毛の逼迫甚だしく世界を擧げて毛織原料の饑饉來を絶叫せしむるに至れり而して本邦主要の原料供給國たる濠洲の輸出制限に因り我毛織業者は何れも痛切なる原料難に困憊しつゝあるなり

反毛事業勃興の急務　内地に於て羊毛生産の餘地なき本邦として此切迫せる原料難を匡救するの途は一に戰時盛んに海外に輸出せられ毛織原料となりし毛織屑物〔毛斯綸、羅紗、毛莫大小類の襤褸及毛糸屑又は洋服セル斷片等の廢物〕を解體反毛して原料となすにあり從て最近反毛の需要は頓に勃興せりと雖も供給之に伴はざる憾あり

毛織界統一の福音　是に於てか嶷に富士瓦斯紡績を創設し鐘淵紡績を設立して多年同社取締役兼技師長の要職に在り本邦紡績界の先覺者として最高の權威と絶對無限の信用を有する工學博士谷口直貞氏主唱の下に同氏畢生の事業として本會社を創立すると共に社長に就任し全責任を以て經營の衝に當るに確定し主として反毛製出に努めて焦眉の毛織原料難を救濟し進んで毛織界の統一を圖るべし

利益の確實と配當保證　反毛機械類の輸入は極めて圓滑なるが故に會社成立後幾何ならずして製品を市場に出し利益を擧げ得べく更に反毛の原料たる毛織屑物は内地の供給甚だ豐富なれば事業の基礎確實安固なり仍て

谷口博士社長たるべき當會社は如何なる場合と雖年壹割貳分以上の配當を保證す

募集要項

一資本金總額　金壹千萬圓
一壹株の金額　金五拾圓
一募集株數　參萬株（總株式貳拾万株中拾七万株は發起人賛成人にて引受く）
一申込株數　拾株以上
一申込期間　大正八年拾二月五日ヨリ拾二日迄
一申込證據金　一株に付金貳圓五拾錢
一第壹回拂込金　一株に付金拾貳圓五拾錢
一募入決定方法　株數の割當は發起人に於て適宜決定す

設立主唱者　工學博士　谷口直貞
發起人總代　工學士　神澤勝也
外發起人賛成人二百五十七名

株式申込及株金拂込取扱所
臺北　臺灣商工銀行
臺中　臺灣商工銀行支店
臺南　臺灣商工銀行支店
京城　朝鮮商業銀行
同　百三十銀行支店
仁川　朝鮮商業銀行支店
仁川　百三十銀行支店
釜山　百三十銀行支店
大連　大連銀行
同　正隆銀行
旅順　正隆銀行支店
青島　龍口銀行支店

大阪市北區中之島五丁目卅、卅一番地　電話土佐堀長二六九四番、三一〇四番　大日本原毛紡績株式會社創立事務所
東京市京橋區宗十郎町十二番地　電話銀座一〇七三番、一一六三番　大日本原毛紡績株式會社創立事務所

買附委託　販賣委託

なんでも、御委託に依り賣もし又買ひもし而も其品物で金融もす

當公司の出資者は如何、如何に信用あり、確實とするか、其取引は如何等は先づ營業案内を乞ふ

凡ての品物有價證券の賣買金融

賣りたし買ひたし　月報

貿易　賣買　倉庫　金融　代理業
ユニバース公司
合資會社

取引法改善廣告

時勢ノ進運ニ伴ヒ現今ノ延取引ハ追ツテ現金取引ニ改ムルノ要アルハ今更申ス迄モ無之區々タル取引方法ヲ以テシテハ遂ニ堅實ナル發展ヲ期スル能ハザルニ立至ルベクト存ゼラレ候ヘ共今日急ニ是ガ實行ハ時機尚早ニ失スル幾多ノ事情有之候ニ付吾等同業者ハ協議ノ上是ガ改善ノ第一歩トシテ現物賣買ノ期日ヲ一定ニ短縮シ來ル十二月五日ヨリ來年三月末日マデ左記ノ通リ實行スルコトニ決議致候四月以降ノ方法ニ付キテハ更ニ協議ノ上決定スルコトニ相成申候間何卒御了承被下度茲ニ謹告仕候也

一、當組合員相互間及鮮内各地ノ日鮮支同業者ト當組合員相互間ノ現物取引ハスベテ期日ヲ二十日ニスルコト
一、賣需口現物小賣販賣ノ期日ハ生細布、生粗布ノ如キハ三十日其他ノ加工品類ハ四十日ニスルコト

大正八年十二月一日

京仁綿布商組合員（イロハ順）

京城　井手商店
仁川　井上商店
京城　梶原商店
仁川　河野本店
京城　河野本店京城出張所
京城　龜谷商店京城出張所
京城　吉田商店京城出張所
京城　田中善（株式）京城支店
京城　高瀨合名會社京城支店
仁川　合資會社玉植商店
京城　同京城支店
京城　安盛商店
京城　山田豊吉京城支店
京城　株式會社福井商店
京城　松前商店京城出張所
京城　靑見洋行京城出張所
仁川　三友商會
京城　株式會社共益社
仁川　同仁川支店
仁川　鬼頭兼次郎商店
京城　三井物産株式會社京城支店
仁川　森文次郎商店
京城　合資會社鈴木商店京城支店
仁川　鈴木倭商店
京城　鈴木倭京城出張店

我時間制可決 經過

日本勞働時間は特殊國委員會の決定通り國際勞働本會議を通過せるが勞働時間制特殊國委員會に於て日本政府委員岡氏の提出したる日本勞働時間制案は左の如し

一、原則として一週五十四時間即ち一日九時間制とし生絲工業に就ては一日十時間、一週六十時間制を採る事

二、十六歳以下の職工及び坑內作業の坑夫については一週四十八時間危險且不衛生なる作業に就ては一週四十八時間（不健康作業に就ては五十四時間制を採る事

三、時間外勞働に就ては時間制委員會の一般規定（時間外勞働は仕事の緊急なる場合の外之を認むる事、時間外勞働の場合には二割五分の增給金を支拂ふ事、時間外勞働に關する規定は使用者又は勞働者の團體ある場合には其協議に依て定むる事而して其合意は法律上の效力を有するものとし團體なき場合には政府は之を定むる事）に從ひ例外的場合にのみ之を認むる事

右に對し齊木家委員武藤山治氏は今後五箇年間十五歳以上の者に對し普通の取扱ひを認むることを條件として政府案に贊成すべしと述べしが結局議長バーンス氏の提議により武藤說の五ヶ年間を三年間となすこととして日本政府案を可決せり（華盛頓電報）

我勞働顧問辭職 八時間問題と不和

一日八時間制問題に對し日本代表間に不和を生じ二名の勞働顧問は辭職せり（華盛頓電報）

ユーゴースラブと條約

ユーゴースラブは未だ講和條約に調印せず（巴里電報）

日英同盟繼續乎 國際聯盟の影響如何

英國は日英同盟を繼續するの希望あるも未だ何等の手段を執らず蓋し該同盟及び將來の諸條約は國際聯盟條約の影響を受く可く右同盟は千九百廿一年日英同盟條約が滿期となる以前に充分確實に運用せらるべし（倫敦電報）

英露使節會見

英國使節と露國過激派使節リトヴィノフとの第二回會見は廿六日午後二時間に亘り行はれ意見交換されたり（倫敦電報）

伊國外相更迭

伊國外相更迭し恩給大臣辭職せり（巴里電報）

南方遂に自覺か 南北和議と北方の意見

南北和議に就ては曾て、政府部內にては此際北方が强硬なる政府を組織するに於ては南方が例へ分離して獨立するも遂に北方に服從するの有利なるを自覺するに至るべしとの說有力となれり（北京電報）

駐伊大使歸朝

伊國駐箚伊大使は十二月下旬頃歸國の筈なり（東京電報）

外務省大更迭 來春發表か

伊集院伊國大使の歸朝坂田西班牙公使の逝去等より外務省は外交革新の聲と相俟ち大更迭行はる可しと觀測されつゝあるが消息通の談に據れば目下彼等の關係又は新興國公使任命等の振合あるを以て來春ならでは更迭發表無かる可しと（東京特電）

陸軍異動僅少

一日發表されし陸軍大異動は廣島憲兵司令官少將川瀨房四氏[illegible]要塞司令官となれる以[illegible]

外は豫測されたる如き大異動は行はれざりき（東京特電）

海軍異動追報

海軍異動追報左の如し（東京電報）

補海軍々令部出仕被仰付 海軍少將 吉田清風
海軍少將 山岡豐一
補第四潛水隊司令官 海軍少將 吉岡範策
補第一艦隊參謀長 海軍少將 百武三郎
補海軍教育本部第二部長兼海軍技術本部技術會議々員被仰付 海軍少將 中島資朋
補海軍々令部出仕被仰付 海軍少將 小林研藏
補佐世保鎭守府參謀長 海軍少將 吉田孟子
待命被仰付

補第二水雷戰隊司令官 海軍少將 三村錦三郎
海軍少將 增田高頼
同 佐野常羽
同 村上信吉
同 金丸清緝
待命被仰付（各通）
補第一水雷戰隊司令官 海軍少將 島內桓太
海軍少將 桑島省三
補第三水雷戰隊司令官 海軍少將 土師勘四郎
海軍少將 加藤雄次郎
待命被仰付（各通）
海軍少將 伊集院俊
兼補海軍々令部參謀 海軍少將 四元賢助
同 東條明次
待命被仰付（各通）
海軍々醫少將 平野勇
補佐世保海軍病院長兼 海軍々醫少將 清水宗助
補海軍省出仕被仰付 海軍主計少將 伴野雄治
補呉海軍工廠經理部長
補呉鎭守府主計長 海軍主計少將 深水貞吉
補海軍經理學校長
兼補海軍技術本部第二部長 海軍造兵中將 神子田右八郎
補第一潛水隊司令官 海軍少將 松村純一
補呉鎭守府附被仰付 海軍機關少將 大橋省
補横須賀鎭守府機關長 海軍機關少將 岩淺季賛
同 齋藤恒四郎
海軍機關少將 末次幸二郎
待命被仰付（各通）
海軍々醫中將 本多忠夫
補海軍省出仕被仰付 海軍々醫少將 鈴木裕三
補海軍省軍務局長
補海軍々醫學校長 海軍々醫少將 西勇雄
補鎭海要港部經理部長兼 海軍主計少將 秋葉新太郎
補舞鶴鎭守府主計長 海軍主計少將 久野工
補海軍省出仕被仰付 海軍少將 山內四郎
補横須賀海軍航空隊司令兼海軍技術本部技術會議々員被仰付 海軍少將 藤原英三郎
補海軍將官會議々員被仰付 海軍少將 野崎小十郎
補臨時南洋群島防備隊司令官 海軍少將 吉川安平
補第二艦隊參謀長 海軍少將 岩野直英
待命被仰付

舞鶴海軍要港部司令官に補せられたる千坂智次郎中將

補海軍省艦政局第三課長 海軍少將 藤原英三郎

安東諸株取引

二日安東信託株は寄附三十六圓止め三十五圓五十錢證託利株は寄附二十一圓五十錢止め二十三圓朝鮮商事信託權利株は寄附十五圓止め十五圓にて取引ありたり（安東電報）

憲兵分隊開廳

[illegible]憲兵分隊は元[illegible]の建物を廳舍に充て分隊長久留島憲兵大尉以下士三名上等兵十名、憲兵補四名の定員にて十二月一日より事務を開始したり久留島分隊長は去る三十日着任一日移轉に對する諸般の準備を爲し即日歸任したり（安東電報）

殖銀貯蓄預金

殖銀貯蓄預金は最近の統計三十九日一日より開始したる殖銀の貯蓄預金は最近の統計三十三萬圓に達せしが地方早魃の影響ありて諸物價騰貴の爲め細民の貯蓄として成績の分なり尚ほ一部にては郵便貯金並に他行の預金に影響を及ぼさざる範圍に於いて預金の吸收に努めつゝあり[illegible]等の手段を執り居らざるも開始後に入らばビラ等を以て預金勸誘の方法をとるべしと

水田價格暴騰 米價高影響

米價續騰のため米產地たる全北平野部の地價は漸次高を示しつゝあり殊に米高により收入增加せし內鮮地主連の放資は土地に集注する形ある爲め地價は一躍暴騰を見、[illegible]の上田は斗落四百圓乃至一反步四百圓より五百圓乃ち一反步八百圓の取引あり普通田にて一反步四百圓より五百圓に[illegible]からず更に早害地にして收穫皆無の水田と雖も水利組合の前途を見越し之れが買付に力を注ぐものあり一反步百圓の[illegible]からざる狀態にあり[illegible]蒙多木で[illegible]の[illegible]買付多しと

獨逸の印象（三）

石上生（在伯林本社特約員）

[illegible]

獨逸に於て廉

なる[illegible]の前後は[illegible]に換算して之を比較する時は[illegible]て現在の伯林の物價を日本貨幣に[illegible]れぬ、而も現在の[illegible]ら、此の[illegible]に[illegible]ても或は日本の[illegible]獨逸に於ける物價[illegible]は[illegible]に發見する、蓋し現下世界を通じて各國の貨幣價格中露國と[illegible]國とを除けば獨逸の貨幣は[illegible]廉なるもので、日本の圓は[illegible]の貨幣とは[illegible]に世界最高のものである、最近の趨勢を以てすれば、さしもに優秀を極めた英の貨幣も亦之に對しては日に頭を下げつゝある、伯林のホテルのボーイが日本へ行きたいと云ふ、何故かと尋ぬると「日本の貨幣が世界中で一番上等だから」と云ふ、この世界[illegible]の日貨を以て劣等の獨貨を計れば最近の爲替相場を以てして獨逸の一馬克は僅々

十錢に當らぬ

今後獨貨が下れば一馬克は實に我が九錢にも落ちる、假に十錢として以上述べた伯林に於ける物價を換算して見れば法定價格は勿論異常の暴利を含む密賣價格と雖も敢て驚くに足らぬ、先づパンや牛乳は比較にならぬとして、日常食糧品中戰前に比し最も高くなつた玉子の一馬克五十錢は法外に高いやうだが、日本[illegible]にすれば十五錢である、

日本の現在に

比し八十圓乃至百圓となつた[illegible]に過ぎぬ、[illegible]は[illegible]戰前九十馬克の[illegible]が八百馬克と[illegible]て[illegible]却て廉價ではあるまいか、更に砂糖の密賣價格一封[illegible]七馬克は獨逸國民に對しては恐ろしい値であるが日本貨幣にすれば七十錢である、近著の新聞によれば日本でも砂糖は一斤七十錢以上に暴騰したさうである、結局大戰の火中にあつた獨逸國民と日本國民とは同じ高さの砂糖を嘗めてゐる、世界的物價標準の原則は[illegible]尤もこするも、戰爭に苦しんだ國民と其の災禍を比較的少く受けた國民と、戰後に於て同じ價の苦しみを受けねばならぬ理由はない、況んや獨逸に於ては少量ながら法定價格のウンと安い低下砂糖に嘗められるに於てをや而して同じ日本新聞の報ずる所によれば日本では砂糖會社が御[illegible]で

五割も六割も

利益の配當をして居る、之を要するに獨逸の物價は之を外國貨幣殊に日本貨幣に換算して比較すれば決して驚くには當らぬ、寧ろ其の廉なるに驚かされる、從つて伯林市內の店頭に列べられて居る如何なる商品を取つても日本の物價に比すれば悉く安い前に書き漏らしたが、伯林第一流のホテルの晩餐が僅かに十八馬克それに葡萄酒や、チツプ[illegible]

今日の獨逸の

[illegible]も高いものは之を他の諸國に比して廉であるが、從つて今後も恐らく其の商品はドシ〳〵海外に出て行くであらう、高い物價を擁する日本は如何にして獨逸商品の海外進出を圖るか、[illegible]勞働問題を日にするもの、そすれば獨逸商權の擴張を[illegible]て、專ら從來日本勞働者の廉なる價を說き、波々として世界の列國の歐に加はらざらんとする風がある、而も若し彼等にして先づ物價問題を解決せずして獨り勞銀の廉なるを賴るものとせば彼等は實に商權擴張を名として勞働者の肉を切取らんとするの徒と云はねばならぬ

選擧後の龍山

さしも猛烈に爭鬪を行ひたる山も幸に藤田山田兩氏共議員に當選したる事とて双方の感情一掃され此際相提携して龍山の發展融和等に努力すべしと光風霽月の態度に出でたる心事の高潔なるは龍山の爲め悅ぶべく今回の爭鬪戰の結[illegible]一波瀾を見るべしと豫期されたるに拘らず却つて相提携して龍山の爲に圖るが如き結果を見るに至りしは兩氏の人格の然らしむる處なるべしと某有力者は語れり

朝鮮憲兵隊異動

十二月一日附以て朝鮮憲兵隊に左の通り異動ありたり

朝鮮憲兵隊司令部 憲兵少佐 淸松 大山 憲兵
同 大尉 三浦 恵一
同 中尉 勝野 正和
朝鮮憲兵隊司令部附 同大尉（進級） 古岳 新治
京城憲兵隊副官 同大尉 藤井 安城
京城憲兵隊副官 同大尉 山形 信廣

安東より

松木生

◎編輯長足下、京城發展運中の小生も有之候其は十有五年の昔鼓浦の大なる非事を豫想して一に候昔ながらの隨世の變化は快心の感興と慰さ申候

◎新義州は而も利京義兩線中の大田たらんとの昔實現したる事に於て之を慶賀するものにあらんと信じ申候

◎然るに期待は小生を失望せしめ申候新義州は市來薪炭の需用地として嘗附す往年のものは補炭とりき今日に出積せるものは悉く根探なるには一顧を與へ且つ慨嘆致し候

◎新政以來官廳は市河の廢を爲さ意を植樹の獎勵に努め慇懃處根の制は山容が崩壞せしめ明山の如を無沒する斯の如くして帝山の新陳の木も亦近んさする悲しむべき[illegible]大の興地に擔へたる當こて推獎に値すべきものも存じ候

◎安東に於て稀に佛教海嶼と偶然なる新年[illegible]也百餘利を政渉し候如何は前年聖旦同[illegible]にて[illegible]つし其に幸にも[illegible]佛の接觸した[illegible]る保前に候小生は黃色兢逢の[illegible]有之候

◎安東に近き滿洲中は鍼道の事[illegible]風發成熟きざるものこ[illegible]にても同じく十[illegible]場せられある見受申候而も是れ悉く非鄕北[illegible]人士の作なる山世界的戰亂の結果日本[illegible]場よりの供給絶に市價暴騰して利潤を占め居れりさの事に候而も市場に見るが如き瑣末る手段なく自由の天自由の地に[illegible]なる勞銀の華人を使用して寸尚見識成効の地歩を恐ろ居れるが如き所滿洲成功者流中稀なる一點にあるも

◎前州に著く後今春恣だり[illegible]顏すれば一式山嶼緑の松翠漲び北望すれば自然と暖々たりコ上が氣候の分岐點かと存ぜられ候

新嘉坡今にして眼前の小利を排し遠大の計を畫すなくんば悔及ばざるに至らんかと存じ候

兒島中將東上

兒島兵司令官は軍務打合せの爲六日より二十日間の豫定を以て東上すべし

三島頭取消息

鮮銀[illegible]の三島鮮銀頭取は[illegible]内に於て[illegible]城の[illegible]こなりしも容易に[illegible]溫の關係上[illegible]城せざる事に決定せし由にて中村理事は先づ渡滿帝[illegible]に赴き重要行務の打合せを爲しつゝありと

上田元三氏逝去

元本社經理部長上田元三氏は本年病氣の爲め辭職し帝[illegible]郷里熊本市に反畑一二番の自宅に於て療養中のところ薬石効なく去月三十日午前一時三十分遂に逝去せり

人事消息

▲若林信太郎氏（明治鑛業株式會社京務取締役）二日夜入城朝鮮ホテルへ
▲松本勇七氏（日清生命保險會社滿洲支店長）二日夜入城不知火へ
▲眞鍋竹三郎氏（平壤阿部農場主）二日夜入城旅館[illegible]
▲西田常三郎氏（元山毎日新聞社長）六日夜入城同上

鳥瞰錄

▲今度仁川稅關長として赴任した[illegible]厚なる[illegible]人物とは[illegible]から上[illegible]▲仁川府尹に[illegible]狙はれて[illegible]た[illegible]の[illegible]が[illegible]になつた郡山府尹の[illegible]グッスリ其の[illegible]に[illegible]込んでつた迄はよかつたが夜半フと目を醒まして見ると[illegible]

▲▲鈴木商店に入社する坂出[illegible]氏の送別會が此の間朝鮮ホテルで催された▲席上持地遞信局長[illegible]を推擧して送別の辭を述べた[illegible]に『鈴木商店は[illegible]年の米騷動以來…[illegible]坂出君の入社を以て鈴木の事業を醇化し[illegible]され度い』云々▲之を見ても如何に持地君が坂出君を[illegible]木時代から深く坂出君の人格に推服してるかゞ分ることは[illegible]

森鐵株公募

朝鮮森林鐵道株式會社株式は四日締切りとなり居れるが京城のみの申込第一日に於て三千八百餘株に上りたる模樣にて締切りまでには餘程の數に達すべき模樣なりと

南鮮鐵道社長

南鮮鐵道株式會社は[illegible]神戶鈴木[illegible]

京商評議員會

[illegible]

金融組合發會式

[illegible]

花環贈呈

宇都宮[illegible]

新春藝苑 投稿歡迎

漢詩『賦得田家早梅』（不限韻）
短歌『初春雜詠』（一人十首迄）
俳句『初 化 雉』（一人二句迄）
雜筆『隨意』（一人二頁以內）
注意＝締切十二月十五日、鐵筆を除く外用紙半紙型、鉛筆は賞物を要し印影は取らず、宛は京城日報社編輯局新春藝苑係、返附の事、鐵筆の返附を要する人は郵稅を添へられ度し

籤引景品附 歲暮大賣出
拾二月五日より卅一日迄
籤引景券は御買上金貳圓毎に一枚呈上即時店內に於て景品と御引換可申候景品は特等以下空籤なし
尚地方よりの御注文に對しては同日附以降景品券呈上可仕候
京城本町一丁目 平田商店 電話六九五番・三二二 振替口座京城一〇八三番

內外時事に關する嚴正批判滿載本年掉尾號の盛
朝鮮公論
國際政局の紛糾と朝鮮問題（社說）
朝鮮の人心を滿足せしめよ 法學士 阪谷芳郎
世界の大勢と我帝國 法學士 一木喜德郎
國家主義と國際主義 法學士 穗積重遠
世界の趨勢と亞細亞の權利 陸軍中將 堀內信水
日本の改造と普通選擧 法學士 小林丑三郎
社會政策と勞働組合 上院議員 山脇玄
生活安定と勞働組合 帝大助教授 大島正德
△囈語漫言 △抱膝獨語
▲勞資關係と經濟不安 前商銀支配人 豐田明敬
▲鮮人教育と學制改正 學務局長 柴田善三郎
▲有望たる朝鮮輕便鐵道 滿鐵經理課長 大內要
▲十年後の朝鮮交通界 滿鐵營業課長 安藤又三郎
▲本道府尹郡守に望む 京畿道知事 工藤英一
半島財界異動觀 五城樓主人
▲西比利亞の事業 一記者
▲潛航艇の威力 少佐 木內
▲有望の伯拉西爾 傳宮士
▲故寺內伯と明石男 飯高生
▲何れ劣らぬ花菖蒲 作太郎
▲幼い頃の話 通石
▲濫習會評判記 兒平子
▲四絃の奏大會 ケイ生
▲ベルモント人 佐一記者
▲巷中の揮生法 劉學士
▲女ならでは 夢影子
▲父 增 夜 話 迫川生
▲あの人この人（骨肉の愛） 石窟
▲戀を許さぬ國（創作） 胡蝶 翠村
購讀申込所 京城 朝鮮公論社 振替京城一五七七
定價四十錢 郵稅一錢 冊五十錢 郵稅六錢

天下の銘酒 ユウクン 發賣元 首藤京城支店 電話一一七一番 首藤釜山支店 電話二四二番 首藤博多支店 電話貳八八番
博多取引所仲買人 首藤定商店 電話長二二三番 二四二六番 二八八番
各種硝子 小野玻璃製造所 京城黃金町百六十七番地 電話二七九一番 弊工場製品は品質本位とし朝鮮京城より製造せしものにて價格最も低廉なり
看板はフシノ工舍 サツポロビール專屬 工所京城本町三丁目 電話七三一番
川北モートル 精米機 モートル 在庫豐富 京城明治町貳丁目 電話長登四四番 株式會社 川北電氣企業社販賣店
貝杓子卸賣 福岡市博多吳服町 サヨタ商會 ▲見本御入用の御方は郵券四十錢御送附相成度▼
工事請負入札 鎭南浦稅關所屬港灣倉庫新築工事請負競爭入札ニ付希望ノ者ハ大正八年十一月二十八日付府官報ヲ熟覽スベシ 大正八年十二月一日 鎭南浦稅關
京日案內 普通一回一行金廿五錢 番外一回金壹圓 ▲申込後中途取消又は料金不足の申込は掲載せず
●求女 某官吏家庭の家事手傳內鮮人年齡二十歲前後（姓名在社）
▲帳場入用 年齡四十前後にて夫婦者にて子供無き者又は堪能なる者 京城新町 長谷川樓
けんちう物 織物販賣 衣服地帶地其他 京城本町四丁目 けんちう屋
▲木炭卸販賣 白炭製造 御入用の方はハガキにて御一報次第御伺可致候 京城府黃金町二四 樋口
年金恩給 長期低利 御立替可致候 ▲京城永樂町 山本願寺下角 江州屋本店
記者採用 紳士二適スル職モ有望ナル新聞社員希望ノ者ハ履歷書携帶本人來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞社
◎代診・藥局生 名 希望者ハ至急申込マルベシ 仁川 佐藤病院
事務員募集 他に新聞記者の心得ある者 履歷書携帶本人來談 南山町二ノ一九 京成社
▲代診 藥局生並に見習生至急入用 本人來談の事 仁川 松本病院
本場大島紬着荷 大島織元松元紬上京小川 市價より三割以上安價 京城本町 電話二四九三番 大和館內
◎御袴專門 仕立入念◎期日正確◎價格低廉 京城本町四 山崎袴店
◎女中入用 十六七以上家庭は夫婦二人生活 京城黃金町一ノ八五 電話七番
▲古本高價買入 ●遠近多少不論御報次第參上● 京城本町二ノ五九 文光堂書店
毛皮なめし 並に仕立 鳥獸剝製標本調製鳥類手羽買入 京城本町二 毛皮 鳥毛 宮易商 電話長二〇六番 增元商店
下宿求む 山之手又ハ仕附近無人數ノ御家庭へ 常方銀行員（姓名在社）
事務員入用 履歷書携帶本人來談 年齡二十歲迄希望者は至急 京城岡崎町 大二商會
紙差名高給雇入 石版 京城櫻井町 戶部印刷所
新築貸家 あり但し下宿屋も可 京城黃金町三の二九 電話二〇七番 申込まれたし
拾得者ニ謝禮拾圓 三十日夜通洞光化門停留場間ニテ袋ヲ遺失セリ 黃金町二ノ一九五 吉田

國境橫斷旅行（六四）

森林の木の間を縫うて 突然現はれた一人の男 木綿二疋と代へた酒幕

惠山鎭にて 特派員 伊藤韓堂

惠山鎭と其の附近

馬賊に飯の只食ひをされる宿屋 冬は籠城のつもりで酒幕をする

半々坦々たる林間の小徑を辿つて行くと路を横切る小さな流に

清冽な澄徹な

淸水が淙々と流れてをる。口を漱ぎ手を洗つてをると行手に當つて一本の四角な白塗りの杭が見ゆる。近づいて驗めると白ペンキの上に鉛筆の走り書きで

大正六年八月十三日、惠山鎭守備隊柳川中尉以下十一名、茂山に赴く爲め此の地を通過し農事洞に向ふ。

と落書がしてある。八月といへば一番暑い盛りだ。大方

兵隊さん達も

この氷の樣に冷たい淸水で渇を醫し汗を拭いたことであらう、杭の下の火山灰の上に胡座をかいてをると溫々と日は照つて小鳥の囀一つ聽こえず閑寂な幽邃な、山靜かなること、眞に太古の如しだ。少時憩うて煙草を吹かしてをると、坐つて居つた金鼎碩が突然『呀！』と叫んで突つ立ち上つた。

『どうしたのか？』

『あ、あすこの森から誰か脫けて來ます』

其の狼狽へ方が尋常でない。背に持參の此の男も畢竟只の一人の朝鮮人に過ぎないのかと高を括つて

指す方を眺め

ると茂つた木立の間から白い色の着物が幽かに隱見する。正しく一人の朝鮮人が來るのだ

『誰が來たつて、ちつとも構はんぢやないか』

『でも、道でない方から來るのが怪しいです』

前後左右を顧みても路はただ一筋あるだけである。彼が何の爲めに道でない方から來るのであらうか？また道でない方から來なければならぬ彼は果して何者であらうか？と疑問は心中に縫綻すると同時に頭に强く或ものがピーンと響いて

『何處かで一度

は蛇度遭遇する』

と豫て期してをつた危險なる或機會が今、來然として到達し、或る豫くべき出來事がココ數分間の裡に演出されるやうな感じがする。や、ま、よ、現今のやうな時柄に武器一つ持たずに此處らまで踏み込んだのが既に大膽過ぎたのだ。今更どうするものかと覺悟を定めてピストルの如に大きなパイン萬年筆を逆さに持つて、瞳を擬して凝視めて居ると先方の男も

漸く我々に氣

が付くと同時に非常に驚き周章て、居つたが、慌てて急ぎ足で驅けて來た。骨格の逞しい四十前後の大男である

『お前は何者か』と大喝する

『稽頂嶺の宿の主人で御座います』

『名前は何といふか』

『尹兆瑞と申します』

『生れは何處か』

『慶尚南道咸安の邑內で御座います』

成程、言語に慶尚南道の訛がある。彼は五六年前から放浪して間島に流れ込み尹兆瑞といふ者と共同して稽頂嶺の頂上にタッター軒ある家屋を

天竺木綿二疋

と交換して酒幕を行つて居るがチョイ〱馬賊の御見舞を受け――財産が絶無だから命に別條ないもの、――始終奴等に飯の只食ひをされるので春から夏にかけては居を鎖めて稽島內島山方面に避難栽培に出掛け秋から冬に掛けては結氷中籠城のつもりで酒幕をするさうである。然るに間島不穩以來、客跡を絶つたので營業が成り立たない許りか稽島の〇〇軍に拘禁された奴等が着のみ着のまゝで命からがら逃げて來るので、其等の者に又

飯の只食ひを

されるので一層貧乏するさうである。昨今の如きは到底口すぎが出來ないから近く山を下るといつてをる。彼に導かれて住宅の方に足を運ぶこと三十分で到着した。此處が稽頂嶺の頂上であつて彼の家は三間半に七間の朝鮮式と支那式を折衷した木葺の溫突房である。

霞ケ關爆彈事件 犯人の擧る迄

警視廳尙ほ惱む 或ひは他に恐るべき陰謀伏在？

去る十月三十一日天長節祝賀の夜外相官邸裏に於て爆彈を爆發せしめたる大椿事ありたるが警視廳其後極力犯人搜探中の處去十一月十六日麴町區內幸町霞ケ關露國大使館東門番澁谷三吉（六二）なる者『己が爆彈犯人を知つてゐる』と近隣の人々に口を辷らしたるを、近に居住せる警視廳外事課勤務の

巡査聞知

し中谷外事課長に申告する處ありたるが最に同廳にて唯一の證據品として保存し置きたる爆彈破裂の現場より拾得せる風呂敷の布片を取出し再び鑑定に附したる處布片は內地製品に非ずして南支方面より輸入せるものと査定せられ茲に犯人は或は支那人ならずやとの疑惑を生じ同廳に於いては搜索方針を一變し大活動の結果翌十七日

澁谷三吉を

引致して嚴重なる取調べを開始せる處遂に支那公使館附コック直隸省北京生れ張金海（三三）及外一名の支那人より三十一日午後三時頃爆彈を風呂敷包みとせるを預かりて同人の居住室なる同館裏門西の八幡の間に置きたるを張金海外一名の支那人が再び此…りて持出し歸りたりとの口述に…て愈々犯人が支那人なることを認めたるが

大公使館內

の居住者なれば夫れ〱手配をなし確…に二十三日午前十一時前記張金海及び同人と最も親交なる露國大使クルペンスキー氏のボーイ直隸省北京生れ米銳（三）佛國大使館ボーイ張鴻起（三）の三名を招致し廳にては正力刑事課長山田搜索係長有松、加藤兩警部嚴重取調べの處張鴻起は何等疑ひを抱くべき處なく直ちに釋放せり前して前記三吉、米、張の

三名を取調

べつゝあるが米、張の兩名は全然否認し一言の陳述をも自白せざるも三吉の陳述により十一月二十五日張金海は主犯者とし米銳は僞證として檢事局より起訴せられ更に令狀を執行したり又張は隱匿罪並に共犯者として收監手續きを了し目下嚴重取調べ中なるが一方支那公使館附コック陳と云ふ者の身邊に向ひ調査を進められるが張金海とは

平素往來し

居る者なり而して前記米及び張は全然否認し居らざるも三吉の陳述は曖昧にして或は三吉自身に爆彈を外相官邸裏に持參せしものに非ずやとの說もあり又た三吉は張以外の犯人一名を自白せざるが該事件の係の日本人一名を自白せるやこの疑惑あり若し張等の僞ことなさば背後には意外の人物潜在すべきは疑ふべからざることたるべし（東京電報）

國境の避難民（特派員撮影）

三素性

張金海（三三）は北京の片田舍に生れ二十歲前後にて日本に來り横濱及び東京に浮浪し居りたるが五六年前露章公使時代に公使館に傭はれコックとなり居りしものなり

米銳（三）は現露國大使クルペンスキー氏と共に支那より三年前渡日し同氏の身邊に附添ひ居るボーイにして同大使の信任あるものなり

三吉精神に異狀か

澁谷三吉（六二）は向島生れにて三十年前露大使館に植木職として傭はれ四年前門番となりたるが目下は日比谷小學校五年生なる長男美佐男（一二）と妻との三人暮しにして同大使よりの給與の手當僅少なるため家庭は貧困なりしと而して三吉は拘引せられし以來精神に異狀を呈しつゝあるが如しと（東京電報）

東八號

總督府醫院の精神病舍を觀る …5…

枯木ぞと思ひし枝に花咲かせ＝腹を切る＝食物が北儘＝年に二回の享樂＝寢ずに待明かす＝神の懷に眠れ

收良服の竹田女史が取出して見せて呉れる製作品は、新聞や雜誌の口繪を切抜いて樣々に配合して張り附けた繪帖や

色紙型

に切つた厚紙に和歌だと自稱する文字を書き記した物や折紙等だが

枯木ぞと思ひし枝に花咲かせ つれなき人を驚かし見ば

なぞと云ふのがあつた、例の美濃の患者と贈答した和歌だと云ふのもある、長い卷物の如なのを

繰披い

て示しながら、

『さア〱御覽下さい之が私の一代記です、私は狂ひだと人が云ひますが氣狂ひになつては大變です。早く氣狂ひにならない前に一代記を作りませう、お、忙しい〱』と言ふ調子が漸次變になつて來た。永居は憚れこ、湯て、隣を覗くとミブンと

異樣な

臭氣鼻向けも出來ない、之れは痴鈍性の患者で屎便のたれ流しを平氣でやるのださうである。最後に覗いたのは指尖で腹を切る患者だつた、指さへあれば自殺せうと死を圖る危險性の患者だから苟くも危險と思はれる器物は一切側に置かぬやうにして在るので遂には

指で腹

をきる事を工夫し出したのだこの事『爪で皮肉を搔き搔つて其處から指を突き込んで腹をきるので同じ樣な事を三度もやりました了ひには腸や胃まで露出して了つて食物が腹から北儘出て來るのです、だから御覽の通り衰弱しきつて

顏を上

げる事さへ出來ないのですから外科の方へ移す事になつて居ますが命が取り留められるかどうか

疑問で

す』と醫員は堅つたが慄悍した姿は打見るに堪へなかつた。診察室、作業室、浴場、炊事場等も一覽したが何れを見ても唯一種の重苦しい氣に壓し附けられるばかりであつた。此病舍にも年に一二回の

享樂が

設けてあるさうだが、それは患者の作業工賃を積み立て、置いて春秋の氣候の好い折を卜し果物や菓子や仁丹の如なものを招いて患者の慰安會を催すのださうだが此日の來るのを患者達は樂みにして

前夜な

どは寢もやらず待ち明かすと云ふ。あはれな罪の子―人間が物慾に囚はれて現在に騷動してゐるが可いか、人目には窮、却て神が無心に神の懷に眠るのが幸福ではあるまいか（完）

大飛行

羅馬東京間 伊國大使館にて發表す

羅馬東京間大飛行に就き伊國大使館附陸軍武官は各國着陸場及び航空距離、距離豫定時間等を發表せるが距離一萬八千三百七十哩にて出發後十日間を要し一月…は支那河內に休養し北京より京城に着陸し京城より大阪に到る豫定なりと（東京特電）

勘定奉行から稅關長

八千萬圓の大世帶の 榮轉する郡山會計課長 上にも下にも評判の好い人

總督府會計課長として滿五箇年間朝鮮の大世帶の金庫を預り受けて總督府としては最も責任の重い役目を引受けて何等非難の聲を聞かず上下の信望を集めた郡山智氏は今回仁川稅關長として榮轉する事となつたに就て某近者は語る『會計課長と云ふ役目は實際府內では

最も蒼蠅

い仕事で頭が固過ぎて惡く放漫では尙ほ惡く上下部下の信望を繫ぎ得る人格の人でなければ到底滿足に勤まるものではない其の意味に於て郡山氏如きは實に適材中の適材であつたと信ずる氏は如何なる場合にあつても公平であつた部下に對し外部に對し殊に左樣であつた會計課と云へば所謂

御用商人

が常にあらゆる必要を生じて自己の利益を企圖み誘惑の魔の手を延ばさんと機會を狙つて居る所である此間にあつて氏は常に公平であつた又氏等に付け入る隙をも與へなかつた又氏の前途は如何なる場合に於ても冷靜であつた從つて事務が威嚇に依つて支配された如きは痕跡をも認める事は出來なかつた要するに氏が永年會計課長として總督府の面目に

汚點を印

さなかつたのは氏の性格が時流にあらず其の仕事をする人で無かつた爲めであると思ふ不幸にして先般上野强一の公金費消事件があつたが之も世間からの攻擊が少なかつたと云ふのも全く氏の人格に依るものと信じて居る』

釜石の坑夫 暴動化す

釜石鑛山坑夫の同盟罷業は今や暴動化しつゝあり（東京特電）

足尾問題

不調破裂となる

足尾銅山坑夫對本社の交涉は遂に不調破裂となれり（東京電報）

公設市場が出來たら

ドノ位廉い物が買るか

いよ〱公設市場の建築が新まつた。府は遲くも本年內には低廉な物資を供給する意氣込みである府當局は語る『公設市場は販賣品は其性質を異にしてゐる爲め定つて其處で供給する物資は價の如く三四割以上も低廉だと云ふ事は不可能である

野菜の

如きは生產者を取めて直接賣らしめるので新鮮で且つ低廉な物資を供給し得るに違ひない、然し穀物其他は京城地が遠く到底生產者自らに賣らせる事が出來ないので止むを得ず問屋筋から供給せしめる手筈である要するに小賣商人の手を經ないだけ低廉に供給し得るから平均して

一二割

は安く買るであらう。兎も角市價より安ければ市價の標準ともなり市價を制する事も出來るから先づ目的を達し得るのである、永久的の施設であるから府から補助する事は不可能である』又今村精米所の今村伊三郎氏は語る『公設市場の話しは前から聞いてゐますが未だ誰が

白米や

雜穀を引受けるかは極つてゐません、いづれ引受けるとなれば白米商組合として引受ける事になるでせう何しろ白米の事ですから五分、一割と云ふ安値では賣れません、精々薄利でやるとしても小賣値一升で一錢も安かつたら大變でせう、大阪府の米の廉賣なぞは府から

補助を

受けてゐるのですが京城のは補助がない上に運賃や其他にも特別な恩典がないので一升一錢安は大勉强でせう』更に雜貨卸問屋辻本勝三郞氏は語る『公設市場で賣るとしたら安くなるかつて、安くならなくちや駄目です先づ取引が

現金で

陸運其他の手數が無いのと店構への費用が僅少なので一二割は安く賣れるでせう』

昨夜出發ノ際ハ御見送ヲ辱ウシ奉深謝候

十二月三日 坂出鳴海

山田憲は死刑

鈴辨殺し事件の判決言渡し

問題の山田憲以下鈴辨殺し事件は二日午前十時東京地方裁判所にて左の通り判決言渡されたり（東京特電）

死刑 山田憲

懲役十五年 渡邊惣藏

同一年六月 山田庄平

山田は控訴

死刑の宣告を受けたる山田憲は二日控訴を申立てたり（東京特電）

大規模の書畫展覽會

來る五六兩日三越樓上にて開催

福岡金華鎭氏を中心とする書畫研究會に於ては來る五六兩日に本町三越吳服店樓上に於て作品展覽會を開催する由なるが金華鎭氏の書畫五十點を始め氏の門下に學べる

野田遞相

國分司法部長官、豐永博士、朝鮮ホテルの猪頭支配人大庭日本生命支店長、工藤京城婦人病院長等數十名を始め閔泳贊子爵たる國分長官夫人外十數名の官婦人淑女及び

當年七歲

の少女の作品をも出品すべく、北外羽鮮の…北村雄明、李完用、閔內爽子等の揮毫を網羅し其數實に百餘點に達する見込みなるが、歷代の書翰は殊に李王家より皇室に獻じし無上の光榮に浴したる由緖ある寶物も非常に氏の蒐集を要したるが

臨終の際

まで枕頭に揭げありし位なりと云ふ商會主は金剛山の巨岩に刻みたる氏の姓字を贈呈して會場內に陳列し京城の諸名家は勿論廣く一般よりも諸名家參加の上席揮毫を試みる當日の來觀者に記念を配布すべく出品の書畫は相當の揮毫料にて頒つべし

奧樣方の苦勞の種

贈答品には何が好いか

一部知識階級の奧様達には廢止論さへ持上がつてる年末年始の贈答も長年の慣例上突然廢める譯にも行かず是非共奧樣方は年末最後の一役としてお歲暮品の選擇をしなければならない時節となりました先づ

年末贈答品

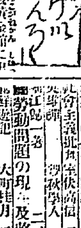
の恰好なのは各家庭を通じてそれ〱選擇は異なるにしろ、手巾、タオル、ショール、肩掛、靴下、襟飾、呉服物、半襟、袋物、手拭、クッション、文房具、玩具、下駄、時計、砂糖、洋酒、纈詰類、陶器等種々雜多ありますが、最も相互の爲めに良いのは商品券で之が一番

喜ばれ行は良い

やうです羽子板、玩具、歌留多等はお年玉として子供さん方への恰好品で、せう菓子とか化粧品類は年末の贈物としては一般から割合に喜ばれず就中梅類は人に依つて苦味を貰つた筈こ嫌忌むさうです何れにしろ充分先方の家庭を考へることが必要です

自轉車を盜む

慶尚北道漆谷郡生れ當時住所不定李七岩（二）は十一月廿二日午前十一時頃府內錦橋町十七番地先に黑洞百四十番地皮靴店が自轉車五十五圓を立掛け置きたるを竊取南米倉町李明在方に隱匿せんと持ち行く途中を本町署の手に逮捕され檢事局に送らる



▲五九郎の氣焰 過般黃金館に出演した曾我廼家五九郎は當島を打揚げて先月二十九日に神戶着、一座は里の德島へ歸つたが何でも朝鮮から支那の排日問題など例の寡聞口調で盛んに氣焰を揚げ『滿洲の馬賊はエライこつたすなア、來年二月には馬賊を種にした芝居をやらうと思うてまんねや……』と大氣焰

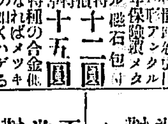
●死に物狂の投賣 上等毛布 一枚續き 只の三圓九十錢

京城市場町中二八五貿易商會にて上等毛布の投賣を始めたが原價は外國輸入の殘品なれば他店の安き品物の激甚な事は敢て驚く可き事なれば成丈け至急に御來店あれ出張は小包の代り價格表は毛布七枚…ラクダ特別上等ト圓なりと

最近各國大流行 暗夜光知 各種夜光 四色

永久不變 金側夜光時計 十二圓

特製 特價 十五圓



金色と皎々として山吹色を呈し永久不變…

皮付夜光小形置時計 二寸丸形時計 …

金返す 大阪市東區上本町九丁目 振替大阪一九武九 ミカド商會

故從三位子爵金恭俊氏返還儀は大正八年十二月四日午後七時を同五時に改定致候也 金子爵家 葬儀所

購買入札 一、白米 百二十石外一點 右購買ス詳細ハ十二月三日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

最新刊 大正九年日記類全部荷揃

書名	著者	定價	送料
宇宙之進化	丘野慶三郎	二、四〇	一〇
家庭生活の改造	高梶孝子	一、三〇	六
女性中心と性愛	堺 山川	一、六〇	六
文學道と漱石先生	赤木	二、三〇	八
支那に遊びて	吉悟桐	二、三〇	八
菓子の旅へ	方罰證男	一、三〇	六
社會主義批判	宗伏商信	二、四〇	八
文學研究	淨秋學人	一、八〇	八
江島一書		二、五〇	八
勞働問題の現在及將來			
朝鮮遊記	大町桂月	二、三〇	八
山際中の日題論		一、七〇	八
…の曲	長田幹彦	一、七〇	六
女子手紙の書方	內田魯子	一、七〇	六

當店獨特 組合文房具 大武四 中發四五拾錢 小八拾錢 ブラ、トラ文具類 景品附大賣出し

大阪屋號

株式名義書換停止 大正八年十二月一日ヨリ臨時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス 大正八年十二月一日 朝鮮大邱府幸町一番地 朝鮮中央鐵道株式會社

▲精米業、籾、糠 ▲雜穀、質屋業 京城本町四丁目 佐野仁作商店 電話一四九二番 振替京城七四〇〇 朝鮮古書發賣 目錄無代進呈

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 伊藤佐七

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 飯田宇作

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 中平岩藏

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 久保順吉

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 桑田信助

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 松井民次郎

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 神頭寅之助

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 平松亮三

不肖今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日 杉下重郎

不肖等今回平壤商業會議所評議員に當選致候に就いては有權者各位に對し厚く御禮申上候 大正八年十二月一日（イロハ順）

林長太郎 富田晋二 大橋恒藏 奧田延之助 小口源一 村井正明 內田錄雄 丸山理平 遠藤忠次郎 新野松次郎 菊名仙吉

夜の蜘蛛

江見水蔭

『三九』 押畫 近藤紫雲

演大變生の間に對して、龍子の母が姉娘の事を語り出したのは、次の如くである。

それは北條網輔が未だ生存の頃からして素行が修まらず。音樂學校に通つてゐる間に獨立した生活をするとか云ふ道諧を逗いて行方知れずに成つて了つた。

それ故、網輔が遭難して入院中に死んだ事も新聞記事に注意しなかつたとすれば恐らく知らずに居るであらう。

名は淀子と云ひ、二十七に成つてゐる。

妹の龍子と異なつて姉の淀子が、其儘に墮落するに至つたのも、實は偶然では無いので。里子に遣つたのが抑もの過失で、其里親が良からぬ性質であつて、父無闇に淀子を可愛がつたので、嚴格な實家を嫌つては里親の處へ走り〜しても居る間に、悉皆悪い方へ向いたのだと説明した。

『それに引替て此龍子は、それは〜孝行で、能く妾の力に成つて呉れます。實は此間までは某會社の女事務員に通つて居りまして……收入も相當に御在ましたのですが……』と延子は語り了つた。

『まア左樣ですか……すると淀子さんといふのは、久濶お便りが無い……龍子さんは會社の事務員で、相當の收入がお有りに成つたのですッて……その方が結構では有りませんか。失禮ながら私の考へでは、若い娘の方としては、會社に勤めてゐらッしやる方が、安全で……今のカフエーなどは誘惑の魔の手が四方八方から出るのですから、收入の點は或は多いかも知れませんが、隨分危險だと思ひますな。此點は櫻宮先生も、酷く心配してゐらッしやいました』

淀は翁の意志を傳へたのである。

『それは御道理ですが……それには少し事情も御在まして……』

と延子は云ひ掛けて口籠つた。

龍子は母の顏を見ながら。

『ねね阿母樣、此方は櫻宮先生とお親しくッて、妾達の事を矢張御心配下さつてゐらッしやるのですから……何も彼も申し上げた方が、却つて宜しいでせう。お隱しする事は、妾、無いと思ひますわ』と云ひ入れた。

『然うねえ……では、お前から能くお話してお呉れ。妾はお茶を入れますから……』と延子は悲しき思ひ出に涙含んだ顏を反けて、茶の仕度に掛つた。

龍子は母に代つて語り出した。

『あの妾達の頭腦を葬式だとおもひかも知れませんが……でも妾達は如何してもこれが正しい道だとも考へます。又如何しても然うしなければ、母なり妾なりの、氣持が晴れませんのですから……』

急に龍子は激して來た。然うして既う感情の走りを花涙に昇せながら。

『妾は御讐が逸げたいので御在ます』と云つて、得耐へず手巾で顏を覆うた。

淀も非常に緊張して聽かずにはゐられなく成つた。

『御讐と仰有るんですか』

『ね、是非敵を搜し出したいのです。父に大怪我をさしました奴、自動車の客も運轉手も、餘りに卑怯だと思ひます。不憫、故意かまると思ひます。無論、故意に父を轢殺さうとしたのでは御在ますまいが……怪我をさした儘逃走すると云ふ事は、餘りに非人道の仕方だと思ひますわ。その父の敵は未だ知れませんのです……それが知れずに濟むのです好いものでせうか。犯罪者を搜索するのは警察の任務でせうけれど……其筋の手にばかり委せては置かれない樣な氣が致しまして……』

此處まで語つて、既う後に龍子の口から聲が出なく成つた。眼からの涙が鬱しいので、それを手巾で押へるので、自然に言葉までが塞がるのだ。

三行詩壇

○山下淑夫(新義)
櫟木のポプラ
月は空に痙つて
女が縊死せし夜

○伴 たすく(京城)
日ごと〜の空の明るさ
嬾錢な一挺
買ひたき、心頻りなり

○
ふつ〜と紅茶のたぎる
淋しさに

○浪 次(永登浦)
ひと日の日記を書き終へたり
冷たく灯る電燈の下
去にし日の夢に
今ぞ泣くなる—

○去來坊(新灘津)
雛子がないて
里の夜はあけぬ
嬉するこころごころ

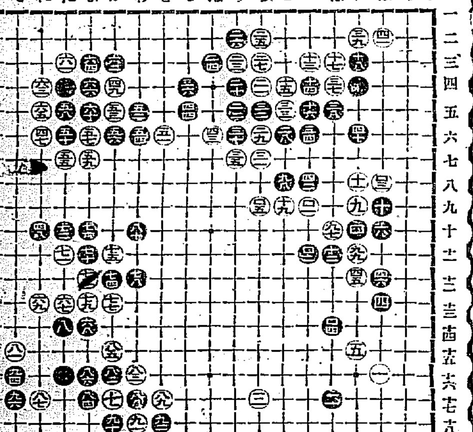
○はまち(永登浦)
枯野原にゆふくれて
ひなたの匂ひ侘びしく
朝鮮の喇叭よ

○花 翁(仁川)
死の暗示を求むる
病者の黙然
電燈徒らに冴ゆる

圍碁新局(七)

(十一月中旬於本社主催圍碁大會)
五段 瀬越憲作氏
三子 佐藤伊藏氏

○九一 わ十八
●九二 な十八
○九三 動トル
●九四 そ十六
○九五 劫粘グ
●九六 そ十七
○九七 ほ十
●九八 さ八
○九九 に十一
●一〇〇 に十
○一〇一 へ九
●一〇二 ペ十一
○一〇三 は八
●一〇四 ほ十四
○一〇五 ち九



◎聯合俳句會(新義州) 新義州鴨吟社及び安東縣木兎吟社聯合俳句會を來る八日の日曜日新義州公會堂に於て開催する事となるべしと

○日本食品の公募 資本金壹百萬圓を以て本春來計畫中の同會社は內容堅實なるが發起人及創立委員として江戸時代より有名なる遠屋本店及吉村五郎氏等有力なる資本家の加はるあり府廳設置製造所に於て已に數十萬圓の製品註文引受けあり確實利益も確實なれば定めて締切迄には多大の申込あるべしと

○關門自動車學校新學期開始 小倉市京町八丁目三代次郎の經營にして民間飛行家高松三千代次氏を校長させる關門航空自動車學校は小倉市外三萩野に校舍新築中なりしが今回愈落成し練習用自動車も最新式のもの二臺既に到著諸般の準備完成したるを以て來春早々新學期開始優秀なる運轉士技術員を養成すると同時に自動車の分解、修理等をも實習にて應ずる由

新刊紹介

▼刀劍と歴史(二一〇) 十五錢、東京麹町區御料地 刀劍禮文庫
▼哈爾賓商品陳列館報(四) 十五錢(哈爾賓ギヤゴナリーナヤ街 四 商品陳列館)
▼陽明主義(十一)(十五錢、大阪中の島公園洗心洞事務所內大阪陽明學會)
▼第十一回參政報告 總督府財務局專賣課開城出張所
▼報德(九の十一) 八錢、鹿兒島市報德會
▼名古屋商業會議所月報(一五〇) 名古屋商業會議所
▼演藝畫報(六の十二) 美しき彩色寫眞數例により數十種何れも最近三都名優の出演せるものを掲げ讀み物として諸家の『碧』研究、默阿彌回顧錄、其他及び小說『權八小紫』(南々園)等あり(七十錢、東京々橋區佐柄木町七演藝俱樂部)
▼オペラ評論(歌劇俳優不平號) 三十五錢、東京下谷區稻荷町一活動評論社
▼社會及國家研究(一の九) 遠藤無江吉野諸博士金子北澤兩ドクトル淺野文學士の社會學及び最近思潮に關する講義を集めたるもの(東京市外巣鴨宮仲巣鴨學會)
▼大日本私立衛生會雜誌(四三九) 東京麹町區大手町一共會
▼ライオンコスモス(一五) 五錢 東京本所區外手町六ライオン講演會
▼大正川柳(八八) 一周忌(劍花坊)其他大正川柳を蒐めたる雜誌にして新らしき川柳の眞價を味はんとするものの必讀すべきもの(二十五錢、東京芝區二本榎西町柳樽寺川柳會)
▼人種問題(大隈重信述) 大隈侯の人種問題に對する説明と所見と主張なり(四十錢、東京牛込早稻田大學出版部)
▼デモクラシー(高橋清吾述) デモクラシーの意義を明かにしたるもの平易にして何人にも解し易し(四十錢、東京牛込早稻田大學出版部)
▼乘りもの(一の四) 交通機關雜誌(三十錢、東京赤坂溜池町三〇龍洋社)
▼日常の法律(六) 平易なる素人判りのする法律雜誌なり(十五錢、東京本郷湯島一の一共社)
▼圍碁虎の巻(七の十二) 東京府下品川町四三宿の日本社
▼商業之大日本(十二) 多趣味の商業雜誌なり高尚なる記事、平易にして面白き讀み物等賑やかに掲載せし(二十五錢、大阪西區北堀江 丁目工業之日本社)
▼たそやあんど(參二錄) 竹內夢二氏の繪と詩とを蒐めたるもの和紙極彩色刷りの美しき古代現代の美人畫多數に配するに同畫伯得意の新詩を以てす畫は妖艶に詩は瀟灑なり、畫の特詩の妙、賑々たる出版界の逸品ともいふべし(九十錢東京芝公園玄文社)
▼騎士物語(矢口達著) 泰西の勇しく情緒に富める昔物語を流麗なる筆にて詳述したるものクラシックの情調紙面に躍動す(一圓七十錢、東京本郷駒込阪下町四八大日本雄辯會)
▼大陸の工商(五の十二) 經濟の中調に就て(關根白念)願くは錯覺より脱せよ(同)外に滿鮮の工商業に關する有益なる記事豐富也(三十錢、京城旭町一の七一共會)
▼朝鮮遞信局協會雜誌(二三) 遞信局員の間に發行せらる遞信事務專門の極めて難價なる雜誌なれど局外者も讀んで興味ある記事豐富なり(十二錢京城遞信局內共會)
▼臺灣時報(十二) 臺灣總督府發行の臺灣に關する論說、講演、地方事情、研究資料、記錄、統計等の有益なる資料を蒐集したるものなり(二十五錢臺灣總督府內共發行所)

讀者の領分

一市民！地税の事で何かゴテ〜云つて居るが文面を見ると已に府廳に掛け合ひたしたらしいじやないか、そして又新聞に投書した所で其れが何になる、そんな事で別に輿論をドッコする事が出來るものか督促料十錢の外に投書代壹錢五厘損だ結局泥棒に追錢なんですよ、お上のする事は何んでも御無理御尤もと思つて酒でも飲んで太平樂を極め込んで居給へ(外の一市民)

▲山茶花女史樣おりふ色の縮緬傘のシミが抜けぬとか、其方法を教へて上げましよう馬の毛を百日程へ離れ一合計り入れよくかき廻はせば色々な物が浮き上がります、其を皆捨てまして殘つた液體を容器へ移し三時間計り煮詰めましたら牛肉形狀のものが出來ます其をシミの所へ塗りつけ日光に曝らして後水にて洗ひ落せばよろし、少し汚いけれどもやつて御らん學理的の事は分かりませぬ(権男)

▲浮世生君！、或る女に餘程手酷くやられた樣ですね、其れを御前さんは『諸君參考』とかで新聞に書きたいらしいが止めて置きなさい、つまりお前さんの何處かに缺點のあつた事が益々暴露する樣なものです、其れよりも今後又々やられぬ樣に用心なさい一度易ト者に行つて女難の相が殘つて居るや否やを調べて貰つて來た經つて居たら六箇月間の食糧を携帶し砂漠旅行をやりなさい、病氣全癒の積りで(沈世子)

◎意氣にも上品にも意の儘に塗つく

ホーカー白粉

美事な
自然の白さに剝く
新發見

小笠原流婚禮大會に此が使はれました

◎自然らしい白さにつく
◎ノリノビが一番好い
◎肌の營養劑を含む
◎ツク力強く化粧崩れがしない
◎洗つた後まで白くなる
◎肌アレ日ヤケを防ぐ
◎匂ひ豐かに艶麗さを增す

定價 一瓶 二十五錢
送料 內地六錢滿鮮四十錢
最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖宛御註文下さい

本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店
電話神田特長 一四三 長一四二 振替東京 一五六

〇ミツワ家庭藥

內容を公示し責任を明かにせる本邦唯一の

處方明記

一、處方を明記し內容を明かにす

如何なる藥品を如何なる分量で調合してあるか分らず、隨つて責任を明かにせぬ賣藥は、如何程效能を吹立てゝも決して安心して用ひられない。然るにミツワ家庭藥は其の處方を容器にも説明書にも明記して、內容の藥品の名稱と分量とを公示し、且其の奏效する理由を明瞭に説き、責任を明かにしてあるから安心して用ひられる。此の處方を公開する方法は本邦には未だ曾て無いことで、實にミツワ家庭藥を以て嚆矢とする。さりとて是さへあれば決して醫療を受けるに及ばぬと云ふが如き誇大な賣藥では無い、要するにミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關である

一、處方的確にして奏效顯著なり

同一の疾病に對しても處方は種々あるが、處方が的確でなければ、能く良効を擧ける理が無い。然るにミツワ家庭藥の處方は何れも斯道の專門家が現今學理上から考へても亦實驗上から觀ても、是以上の處方は無いといふ所まで研究に研究を重ねたもの故、其の効驗は顯著偉大なることは言ふまでもなく、而も日常起り易き種々の疾病に洩く應用されるやう、三十餘種を取揃へてあるから、家庭藥として是程行屆いたものは他に類が無い

一、製劑精確にして効力一定不變也

如何に純良の藥品を調合しても、其の製劑の方法が精確でなければ、藥品の性質が變り隨て効力の一定せぬこと憂ひがある、然るにミツワ家庭藥は學識經驗に富める藥學士數名の監督の下に、精確嚴密に製するのであるから、責任なき製劑とは其の趣を異にし、劑上の錯誤は勿論變質の憂ひ無く、其の効力は常に一定して居て、或は効き一向効かないといふやうな不安心のことが無い

一、藥品純良にして中毒の危險なし

名稱の同じ藥品でも上下の等級があつて、上等良のものは効力が強く、而も嘔吐耳鳴等の中毒作用が無い、然し下等不純のものは効力が弱く往々中毒の危險を伴ふ、又多くの藥品中には元來性質の劇烈なものもあるが、家庭藥に此の如き劇毒藥や不純の藥品を用ふると、較もすれば過失を生じ甚だ危險である、然るにミツワ家庭藥は純良で性質の劇烈ならぬ藥品を用ひてあるから、卓効があつて毫も危險が無い

一、容器完全にして變質の憂なし

總合處方が的確で、製劑が精確で、藥品が純良であつても、紙包にして置くと、藥劑は風化潮解して變質し無効有害となる、然るにミツワ家庭藥は容器に納め用ひて何れも完全にしてあるから、其の中の藥劑が空氣と化合したり濕氣を引いて溶解したりすることが無い、それに包裝が嚴重であるから、如何に酷暑の季節に於ても熱帶地方に在つても、其の中の藥劑が變敗する事がない、それと同時に外出や旅行の際攜帶するのに至極便利である

一、內服藥は錠劑にして服用し易し

總て內服藥には用ふる分量が定まつて居て、それより少ければ效驗が無く、又多過ぎれば危險がある、然るにミツワ家庭藥の中內服藥は總て錠劑に製してあつて、服用者の年齡に依り一回に用ふる錠數が定めてあるから、天秤で量る手數も無く、目分量で服むやうな不確實のこともなく、苦い辛い臭いなどの厭ふべき味も毫も感ぜず服めるので小兒にも用ひ易く、散劑で服むやうな面倒も無く、又場合によつて湯や水が無くても嚥み込むことが出來て甚だ簡便である

一、價格低廉して永く保存に耐ふ

ミツワ家庭藥は數日乃至數十日分を一罎に入れてあるから、一回分と計算すれば決して高くはない、何人でも其の公開してある處方に依て調劑したなら、恐らく其の定價よりも以上の價になるであらう。而して一二回用ひて其の殘藥を保存して置けば、如何に永く月日が經ても性質も効力も變ることが無いから何時でも用ひられ、畢竟頗る經濟的の藥劑である。怪我してから又疾病に罹つてから藥を求めるのでは到底間に合はず、不虞の禍を招くことがあるが、斯く保存に耐ふるミツワ家庭藥を平生必ず備へ置き旅行の際にも攜帶して早速之を用ふるに限る

醫學士 小山田謙 編
家庭治療法 四六版本紙二百三十頁
本書は疾病の原因や症狀などを平易に說き、家庭にて施し得る療法を丁寧に教へたもので、醫師にかかるまでの親切な相談相手である。定價金五十錢。但金卅五錢(郵券代用不苦)を添へ申込あれば一冊送呈す。

ミツワ家庭藥の種類と定價(內地以外は關税運賃を加ふ)

品名	効能	定價
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	卅錠入 拾錢 百錠入 貳拾錢 三百錠入 五拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	卅錠入 拾五錢 百廿錠入 五拾錢 三五〇錠 壹圓卅錢
ミツワ制酸錠	酒の過飲・宿酔・悪心・嘔吐	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便秘殊に常習便秘症	四十錠 拾錢 百廿錠 貳拾錢 三五〇錠 五拾錢
ミツワ止瀉錠	慢性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠 貳拾錢 六十錠 四拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し腸胃病を豫防す	卅錠入 貳拾錢 七十錠入 四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲等腸內寄生蟲驅除及豫防	廿五錠 貳拾錢 六十錠 四十錢
ミツワ清凉劑	口中清凉・神身興奮・口中病豫防	紙函入 拾錢 罎入 參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	卅錠入 貳拾五錢 百錠入 七拾錢 三百錠入 貳圓
ミツワ袪痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の袪痰	卅錠入 拾五錢 百錠入 四拾錢
ミツワ鎮咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎮咳	百錠入 一圓五十錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入 貳圓
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入 五拾錢 五百錠 貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入 七拾錢 五百錠 參圓
ミツワ鎮靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入 壹圓廿錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錠入 五拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮內外膜炎 膣炎等	六個入 五拾錢
ミツワ治淋藥	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十個入 一圓五十錢
ミツワ淋病洗滌藥	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附壜入 五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及び眼球の結膜の諸病	點眼器附壜入 拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症鼻腔疾等	壜入 參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入 貳拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及び口中一切の病の洗藥	百五十錠入 參拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入 貳拾五錢
ミツワ鎮痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入 四拾錢
ミツワ殺蟲液	蠅蚊等總て蟲に螫されたる場合	壜入 貳拾錢 大壜入 五拾錢
ミツワ養毛液	脫毛髮脂多過を防ぐに用ひらる	壜入 五拾錢
ミツワ腋臭液	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	壜入 參拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫皮膚爛	紙函入 拾錢 大函入 貳拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛瘡・擦過傷等	硝子器入 拾錢
ミツワ濕疹膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入 貳拾錢
ミツワ瘡痍膏	瘡瘍・酒齄鼻・毛瘡・白癬・疥癬	硝子器入 貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰囊癬・白癬・濕疹等	硝子器入 貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜裂・皮膚皸裂・水蟲	硝子器入 貳拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂瘡等痔一切	六個入 四拾錢

ミツワ石鹼 ミツワ煉油 ミツワ肝油ドロップス ミツワ家庭藥 ミツワ規那鐵葡萄酒 ミツワ人參葡萄酒 御園化粧品 發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
登錄商號 ◎ミ 丸見屋商店
電信略號 ◎ミヤ 振替口座東京七一〇番
營業部電話長浪花 三〇・四四八・四四九・四五〇

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)
木浦大阪行 安東丸 月 日正午
△濟州山、大阪行 大進丸 十二月四日 後四時
三原山丸 月 日 後四時

(元山出帆)
清津行 安平丸 十二月七日 後九時出帆
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十二月 日 後十二時

(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月八日 前六時出帆
基隆丸 月廿四日 前六時出帆
內地各港小帆主要港
歐洲行 一年四回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 孟買行 毎月一回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月二回

御注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話二三番 三二〇番 五五〇番
京城內 [illegible]

共同汽船仁川出帆

▲秦皇島行 第二共同丸 月 日正午後
▲青島直行 第十一共同丸 月 日正午
▲大連直行 第六共同丸 月 日後
第十二共同丸 月 日前
朝鮮鐵道主要驛にて阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 野口商會 西四丁目電話一七三番
元山代理店 田口回漕 春日町電話二四七番
京城取次店 河村運送 南大門電話二七六〇・八一二番

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 清津、城津、元山經由 立神丸 十二月 日
▲浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津、清津經由 平安丸 月 日 釜山發 月 日 元山發
▲雄基行 阪神、門司、釜山、名港經由 雄基丸 月 日 釜山發 平壤丸 月 日 元山發
▲元山雄基線 經城丸 十二月 日 元山發
▲大阪行 春日丸 月 日
▲關門行 各港經由 雄基丸 十二月 日 京畿丸 十二月 日
▲濟州島行 [illegible]
▲木浦行 仁川經由 晉州丸 月 日
多島海行 [illegible]
▲鎭南浦行 仁川經由 宗信丸 十二月 日
江原丸 月 日

本社 京城南大門通
支店 釜山、元山
仁川代理店 仁川代理店
其他各寄港地ニ寄客取扱店